～THE CIVILIZATION BLASTER～

絶園のテンペスト

原作：城平京
構成：左有秀
作画：彩崎廉

3

～THE CIVILIZATION BLASTER～

GC 絶園のテンペスト ～THE CIVILIZATION BLASTER～ 3

原作 城平京
構成 左有秀
作画 彩崎廉

SQ

0987

9784757530874

ISBN978-4-7575-3087-4

C9979 ¥457E

1929979004576

雑誌48123-22
定価：本体457円＋税

SQUARE ENIX

絶園のテンペスト

～THE CIVILIZATION BLASTER～

GC ガンガンコミックス

彩崎廉

世間は3Dやタッチパネルとどんどんデジタル化が進んでいきますが、アナログ人間の自分は旅行や結婚式に行ってもみんなデジカメの中、一人ポラロイドカメラです。

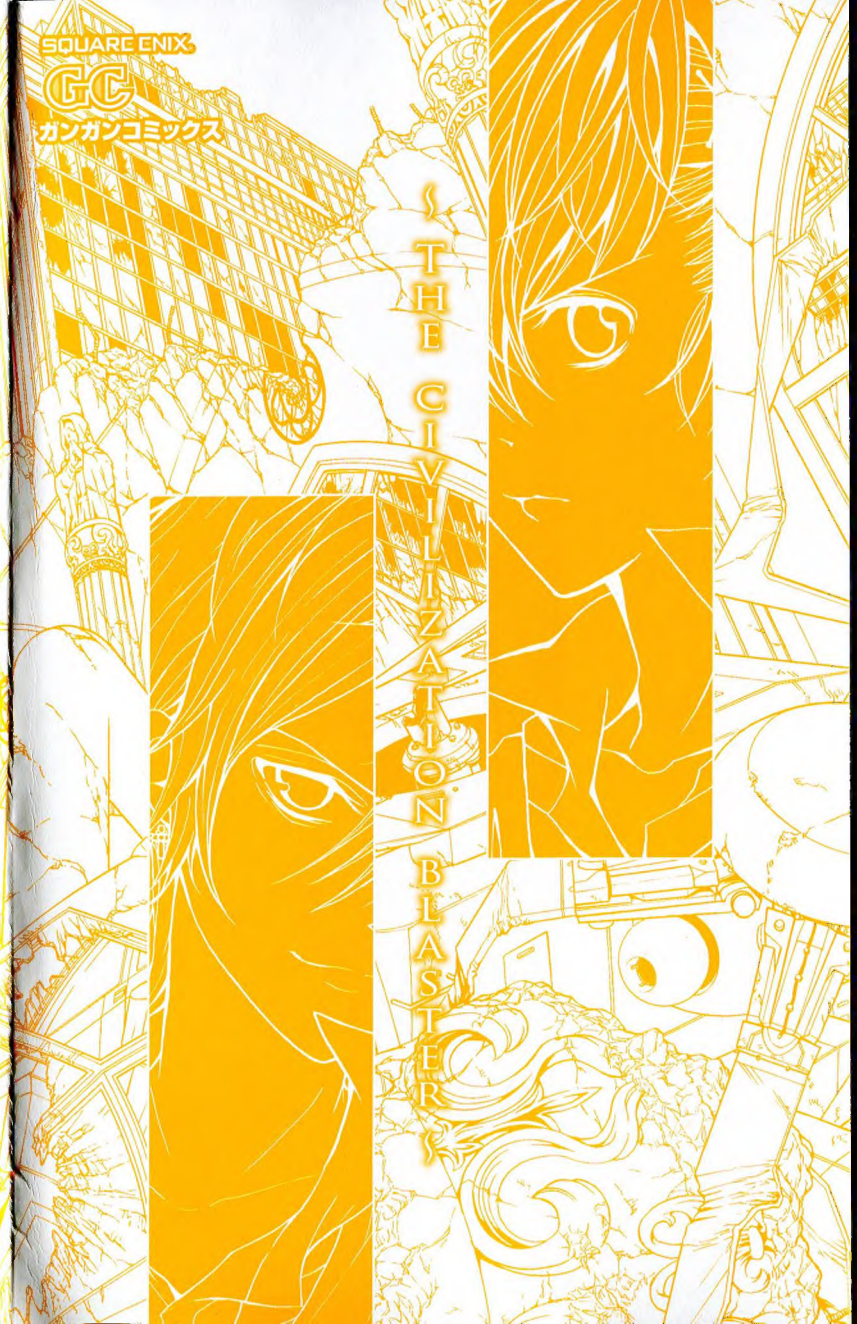
唯一自分と同じMDウォークマン仲間だったスタッフの一人に「オレたちゃ世間に染まることなくMDウォークマンを貫き通そうぜ！近代化なんてクソくらえだ！」と言って熱い結束を交わした翌週、iPod touch、買いました。

デジカメ、買いました。

SQUARE ENIX
GC
ガンガンコミックス

GC 絶園のテンペスト 3

原作 城平京
構成 左有秀
作画 彩崎廉
SD

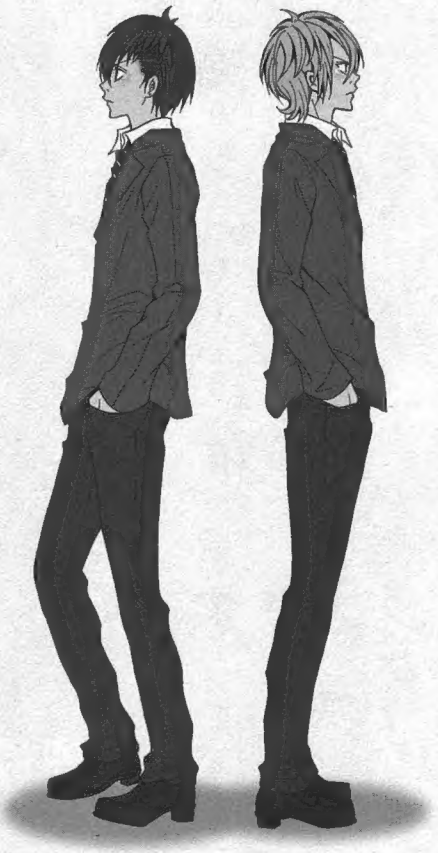


★この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などには、いっさい関係ありません。

絶園のテンペスト

～THE CIVILIZATION BLASTER～

3



原作◉城平京
構成◉左有秀
作画◉彩崎廉

CONTENTS

第十話／『彼氏』――――――

第十話:『彼氏』

ズガガガガガガ
不用意に撃つな！
味方に当たる！
ドンッ

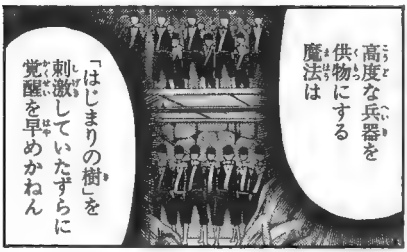
これで
二十！
撃っても効かん！
防御能力を削るどころかむしろ厚くなってる
こんなの抑えられるものか！

なんて奴だ！
兵はろくに傷付けず兵器だけを完全に破壊している！
そのたびに新たな魔法防御が発生するとあっては手のつけようがない！
死者は出すとも戦意が根こそぎ奪われるぞ！
結界への攻撃も途切れ出した……

魔法使いただ一人にここまで軍が崩れるか？
もはや
軍の面子を気に掛けている時ではないか
コードFの出撃を要請！
至急だっ！

…軍の兵器
二割は削れたか？

だが思ったより
崩れんな
長引くのは
まずいというのに…


高度な兵器を
供物にする
魔法は
「はじまりの樹」を
刺激していたずらに
覚醒を早めかねん

夏村の投入も
もっと遅らせた
かったほどだ…

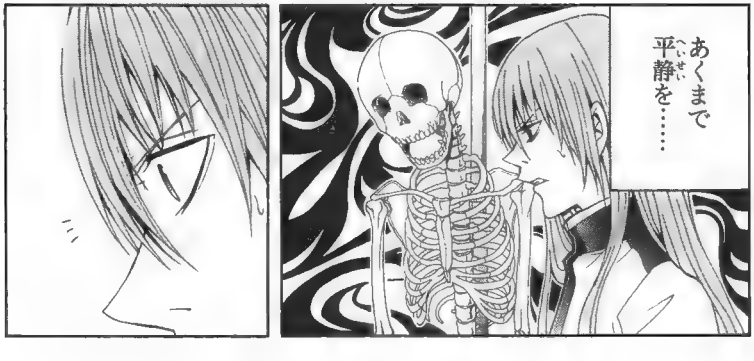
それに
左門殿もだ
このきわどい時に一年前に
殺人を犯した者を特定して
連れてこいなどとっ

そんな者がいれば
確かに大問題
といえ——

今である必要があるのか？
補給係から二人こちらに回してくれ
新規の調査に人員を追加したい
くそっバランスがわからんっ
我々は優位なのか？
そう見えて実は逆なのか？

あの少年の妹を
殺した犯人が
一族にいれば
特定するのに
一時間はいらんと
思うが……
気の遠くなる
状況では
ないかっ！

しかし
こうなっては
焦りを表に出す方が
よほど愚かだ


あくまで
平静を……

何だ？
コッ…ッ
ピ…ッ

どうした吉野(よしの)？
ごめん
真広(まひろ)

っ……！

何の真似だよっ！

ちょっと
その魔具を
渡してもらおうと
思ってねっ！
くっ…
どうなって
いるっ！
これ以上わけの
わからぬ展開など
たまらんぞ！
チャッ
樹の中の樹
大樹の中の
大樹

我が言葉において
聞き届けよ！

おい！
吉野に手え出すな！
バカを言うな！
ﾊｯ

お前が魔具を奪われては――
こちらも困る！
それに争う弾みでその魔具が発動されても困る！
私に任せろ！
うるせえ！
お前が退いてろ！

ヒュ
ドン

ﾊﾊﾊ

通販で安くって
言ったら信じるか？
月ッ
……
おのれっ！
なぜここ
この時に
私が子供のケンカを
仲裁する羽目に
なるのだ！

ガキン
ガキン
おとなしくしていろ
命までは取らん

何！
ドッ
やっぱり魔法のフィールド同士ぶつかれば
弾き飛ばすくらいはできるみたいね

姓は山本
名はエヴァンジェリン
人呼んで
フロイライン山本
推参なり！

じり…

お前の連れは何を考えている？
何が目的だ！
吉野そういう質問だが
どうだ？
真広
僕らは何のためにここに来た？
ああ？

僕らは
一年前
理不尽に殺された
女の子のためにここに
来たはずだ
なのに僕らが
同じように理不尽な
目にあわされた女の子を
見捨てていいのか？
このまま死なせて
いいのか？
復讐の
ためといえ
お前はそんな
悲劇の結末を
許すのか！
チッ
お前が以前
果実が飛んで
混乱した町で
助けなくてもいい
女の子を助けたのは
それが耐えられ
なかったからじゃ
ないのか！

…そうは言っても仕方ねえだろ！

その人形の向こうにいるのは二年前の葉風だ

現在の葉風はそこに吊られてる骨だぞ！

オレらが何しようともう死んでるんだよっ！

だったらこいつと取引して犯人だけでもぶっ殺すってのは理にかなってる！
一番の目的はそれだったろ！

吉野
何を根拠にそう強く出られる？
真広の言うとおり
そちらの時間で私は死んでいるのだぞ？
だったら真広復讐が出来て葉風さんを救う手があるなら
もう一度葉風さん側につく気はあるってことか？
お前！
何を言い出す!?

…理屈じゃそうなるかもしれねえが
骨になった葉風を救えるわけねえだろ
魔法でも死人は生き返らねえんだ
知ってる…死者は生き返らない
愛花ちゃんも生き返らない
でも僕には二年前の時空間にいる葉風さんを
ここに生きて戻せると立証する準備がある

よもや
あの少年……！
たとえそうだとしてもだ
じきに愛花を殺した犯人が確実に引き渡されるってのに
なんで今さら葉風の側につかなきゃならねえんだ？
それに
そうほいほい取引相手変えてたら肝心の犯人を逃がしかねねえ
どう考えてもオレにメリットねえだろ
？…
そうだそれでいい
どうやら利と理はわかっているなら心配するまでも……
メリットはある

真広
こちら側につくと
いうなら
お前に愛花ちゃんの
彼氏が誰だったか
教えてやる

!!?
でまかせ言ってんじゃねえぞ！

お前っ
さっき彼氏なんか知らないって言ったろ！
言ってないって
お前 僕の返事も聞かずに話打ち切ったろ
でも知ってたら教えろよ！

うん
でも知らない方がいいこともあるし
ああくそっ
お前はそういうやつだった!!
彼氏？何だ？
なぜそれほど動揺する？
…本当に彼氏が誰か知ってんだな？
そりゃその彼氏って僕のことだし
ああ知ってる

でも真広
僕の話に乗らない限り
誰かは一生教えない

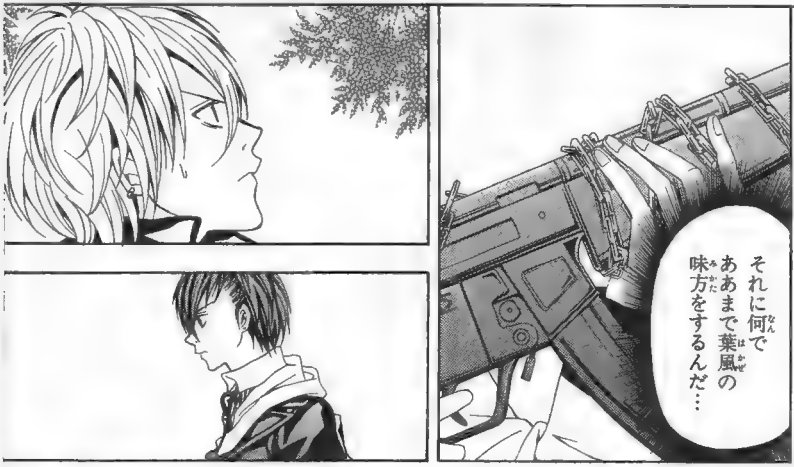
これは
そういう
取引だ

お前は誰か
知らないまま
一生悩むぞ

こういう時の
あいつは読めねえ
なんて交換条件
出しやがるんだよっ

でも
吉野だぞ？

はったりか？


それに何で
ああまで葉風の
味方をするんだ…

真広 これは僕が
愛花ちゃんに
託された役目だ
だからここは
譲らない
これを悲劇では
終わらせない
愛花ちゃんの死を
悲劇のための
ものにはしない

待て
彼氏が何だ？
どうして迷う？
ありえん
だろう！

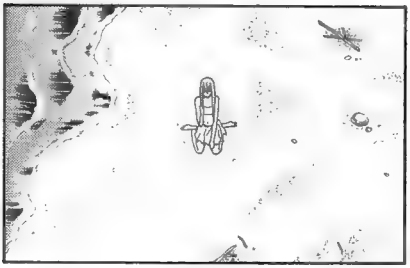
…簡単に
取引には
乗れねえぞ
骨になってる
葉風を救うなんて
不可能――
どう越える？
これからそれを
立証する
その方法に
納得できれば
葉風さんに
改めてつくか？

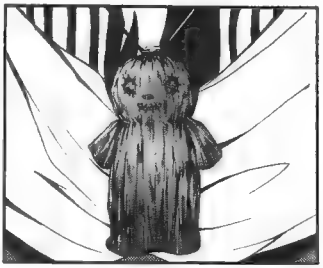
ついたら愛花の
彼氏が誰か
教えるんだな？
葉風さんを
ここに戻せたら
教えるよ

いいぜ
話せよ
その不可能解いてみせろ
おいっ
何を言っている！
そんなバカな取引があるか！
おいおい
お前の話じゃ葉風はとうに死んでるんだろ？
何を焦る？
ならお前の勝ちは動かねえ

どうせ愛花を殺した犯人が連れて来られるまで時間があるんだ
吉野の話聞いてたっていいだろ？
…わかった
その余興付き合ってやろう
吉野
話は聞いてやる

ただし愛花を
殺したやつがここに
連れてこられるまでだ
それまでに納得できなきゃお前との取引はなしだ
犯人を目の前にして
葉風が戻るのを待てるほどオレは気が長くねえ
左門が犯人の身柄を盾にオレと交渉してきやがっても面倒だからな
ああ
構わない





我らをとりまく理はどうなっている？

『彼氏』などで状況がひっくり返るとは！

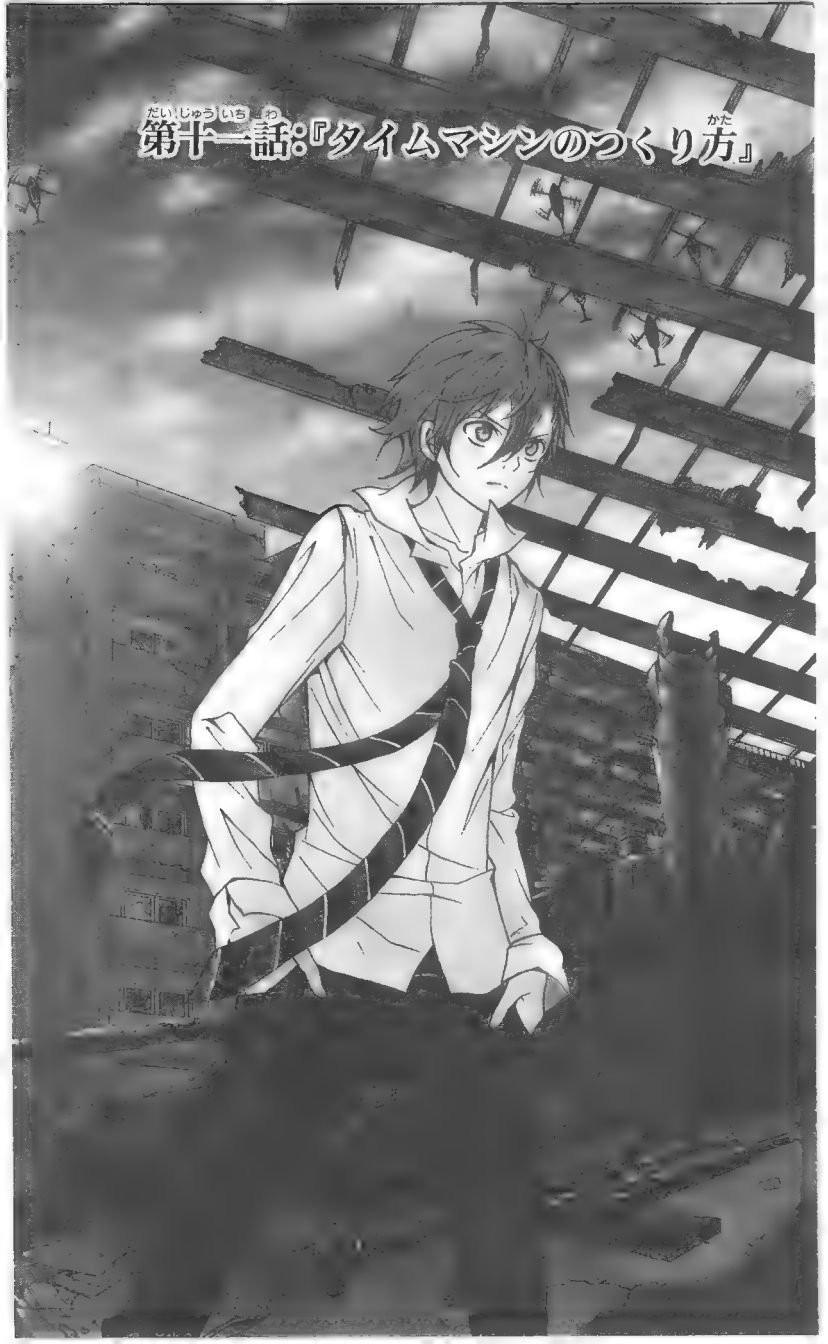
それほどまでに

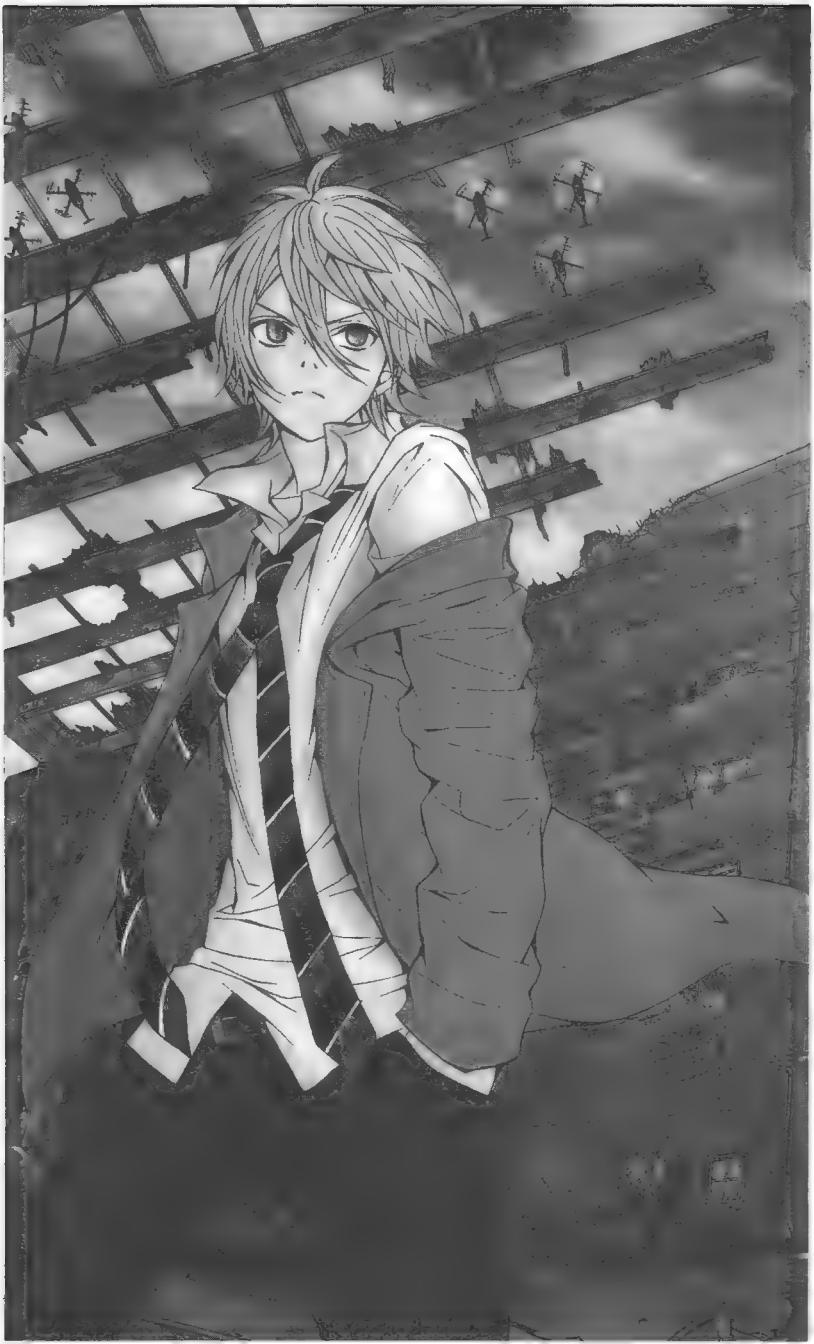
じゃあ
立証を始めるぞ

絶園のテンペスト

THE CIVILIZATION BLASTER

『愚か者、私と私の仲間は
運命の神の使いだ』
（シェイクスピア『テンペスト シェイクスピア全集8』第三幕第三場
松岡和子訳　ちくま文庫）


第十一話:『タイムマシンのつくり方』



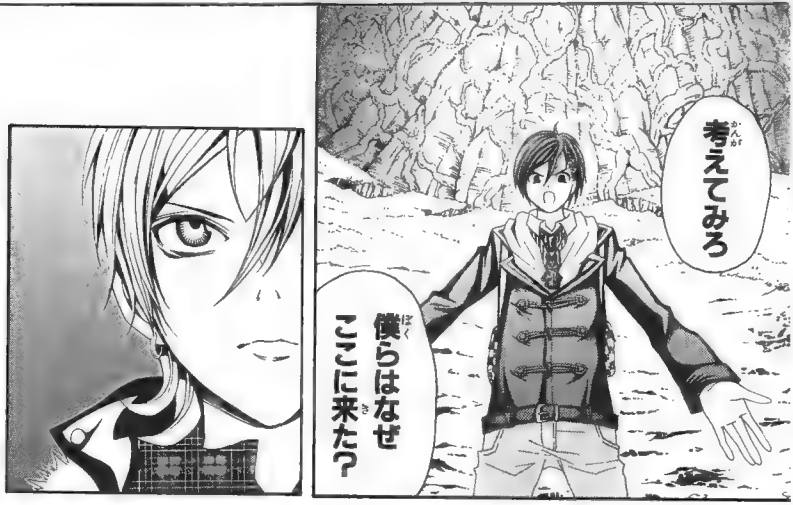
THE CIVILIZATION BLASTER

この世と
この世の理を
造ったのは
「はじまりの樹」
葉風さんは
その加護を最大限に
受けている

なら この世のルールが
葉風さんに味方をしている
ようなものだ

真広

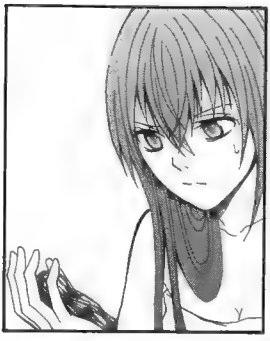
なのにそんな葉風さんに
完全に勝ち目がなくなるなんてことがあると思うか？
だが「はじまりの樹」は完全に目覚めてはいない
だからそんな隊もあるって話じゃなかったか？
「はじまりの樹」を倒せる「絶園の樹」があんなにもでかくなってるんだ
理とやらも少しはおかしくなるだろうよ
そうだね
だから葉風さんは今 不利な状況に追い込まれてる
でも不利ってことは
負けが決まったってことじゃない


考えてみろ
僕らはなぜここに来た？

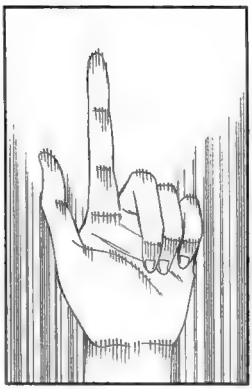
お前じゃなけりゃここまで来れなかった
お前じゃなきゃ蓑風さんに手を貸しはしなかった

そんなお前が蓑風さんが海に流した人形を拾ったのを
ただの偶然で片付けられるか？

……



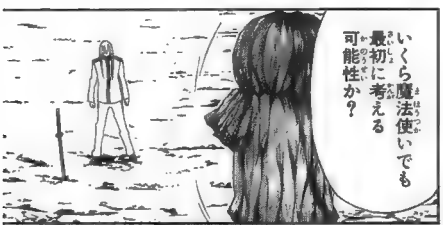
そんな偶然があるものか！
そこには葉風さんを導たせる「はじまりの剣」の理があるはずだ！



……
……くっ
この少年よく言い切る…

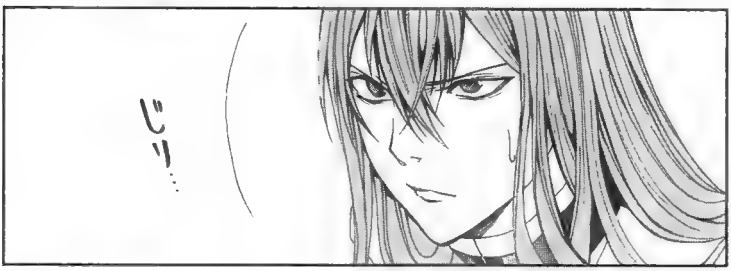
それに
鎖部左門の対応も変じゃないか？

僕らが時間を越えて葉風さんとつながってるなんて無茶を
頭から確信してた


いくら魔法使いでも最初に考える可能性か？

確かにそう言われればそうだが…

まあ
時間のずれなんて
普通に確信する
現象じゃあねえよな


じり…

だから鎖部左門にとっては
僕らみたいなのがここに
来ることは想定内
葉風さんが
「時間を越えて」つながるのも
最初から想定していたとしか
思えない

何でそんな無茶を
想定する？

その事態を
恐れ
それに対応する手を
考えなければ
いけなかったからだ

ふん
カシャン
それを恐れてるってことは
今の状態じゃあまだ左門の勝利は確定してないってことか？
そうだつまり――
「時間の檻」に封じ込められているという茅風さんを
ここに戻せる手があるってことだ

鎖部左門は
それをないと思わせ
僕らを
この世の理をもだまし
勝ちを得ようと
してるんだよ！
……
魔具を持って
いるようだな？
ほんの少しね
チャリ

その身が可愛ければ退け！
今こちらのまとっている防御魔法は
戦機の魔具が百あっても消耗しない
バリ
バリ
魔法には過去に二回ばかり痛い目にあわされてるの
ここらでやり返しとかないと気がおさまらなくってね
だから
カッ

バサ
バサ
名前を聞かせて
魔法使い
鎖部夏村
憶えてもらうほどの名ではない
バッ
ザッ

では
尋常に！
勝負！

面白いな
この世の理が
味方する葉風には
勝てねえ

でも葉風に
完全に負けたと
思わせ
トン
トン
自分から勝つ可能性を
抵抗する意志を
捨てさせれば
あるいは、か？

「時間の檻」なんてものに閉じ込められたら
普通は絶望するからな

鎖部左門の狙いはそれだ

そうして絶望してる間に「絶園の樹」を復活させる

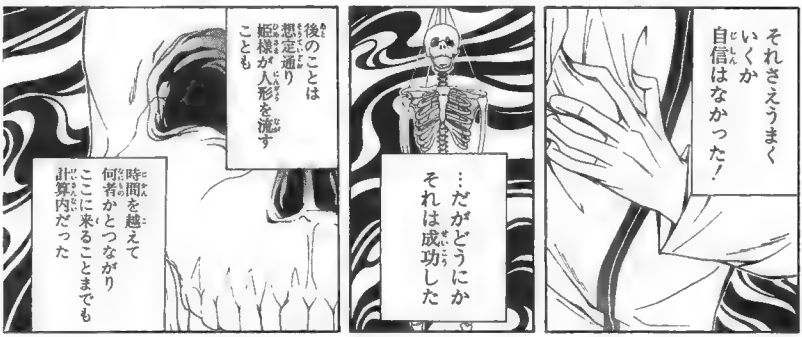
後になって裏風さんが立ち直りここに戻れると気づいても
すでに手遅れだ

復活の時間さえ稼げれば後でばれてもいい
そういう企みなんだよ

どうです？
左門さん？

…確かに
我らの狙いは
それだ！

この世の理が
味方する姫様には
勝てん
不利な状況を
作り出すのが
精一杯だ


それさえうまく
いくか
自信はなかった！
…だがどうにか
それは成功した
後のことは
想定通り
姫様が人形を流すことも
時間を越えて
何者かとつながり
ここに来ることまでも
計算内だった

考えに考えて
組み上げた
姫様と世の理を
だます策が
見事にはまって
いたのだ！

それをこうも
電撃的に
見抜かれるとは…
これも姫様に
味方する世の理
ゆえか!?
だが
グ…
まだ完全に
見抜かれた
わけではない
まだ我らの策は
崩れていない!

なるほど
一応筋は
通っているな
だが肝心の問題を
解決していないぞ

吉野っ
貴様の言うことは
そうとも考えられる
というだけ

私が敗北を認めざるを
得なかったのは
なぜだと思う

二年前の時空間に
姫様が閉じ込められて
いるのは事実
その姫様を
どうやってここに
戻せる？

島ですでに死んだと確認され死体もそこに吊られているのだぞ？
その絶対的な時間の檻をお前は破れると言うのか？
破れはせん！
ならばお前の仮説は砂の城も同じ
非現実的な言葉遊びに過ぎん！
もっともだな吉野
オレもこの時間の檻を破れるとは思えねえよ

破れたら過去を変えちまう
タイムパラドックスが起こる
ありえねえ
それでも破れる根拠か具体的な方法が立証できなきゃ
お前の側にはつけねえぞ
それでいい
それが当然の判断だ
ただし
時間の檻を破る方法は存在するのだがな
「姫様には必ず勝つ可能性がある」それがこの世の理だ
それに反することは我らにはできん

しかしその方法は
「はじまりの樹」
覚醒を阻止するため
鎖部一族が
三代前から考え
試行を重ねようやく
編み出した方法

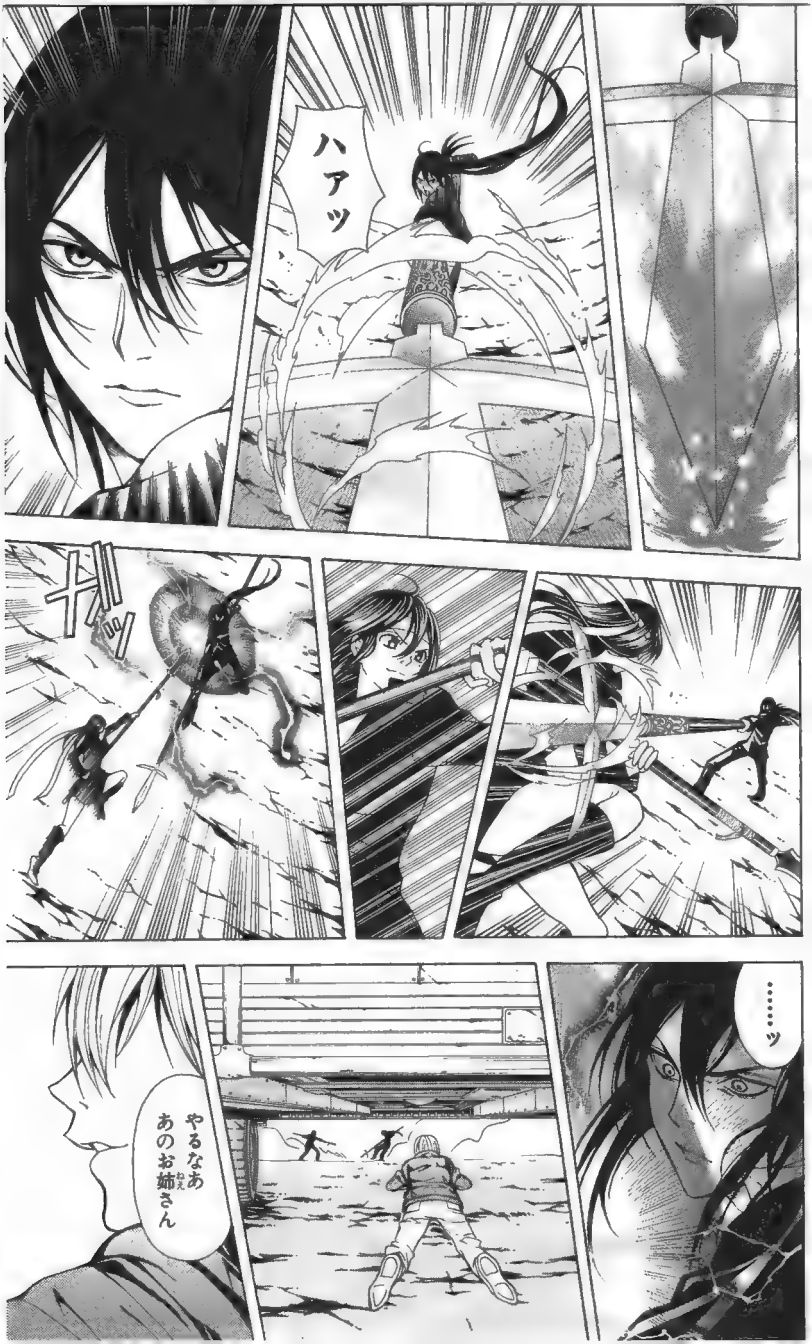
逆に言うなら
破る方法が存在する
から姫様を島に
流せたのだ

姫様でさえ
そう簡単に
考えつくもの
ではない

それを魔法について
ろくに知らぬ少年が
この短時間で
見つけられる
わけがない！

時間の檻は破れる
フ…
いや 時間の檻自体錯覚なんだよ タイムパラドックスもない
うん？
カラン…
だまされるな真広！
時間の檻なんて存在しない！

僕らは
ここと孤島で
二年間の時間のずれが
あると思い込まされてる
だけなんだ！


ハアッ
ガッ
……ッ
やるなあ
あのお姉さん

限られた魔具で
うまく夏村君を
食い止めてるよ

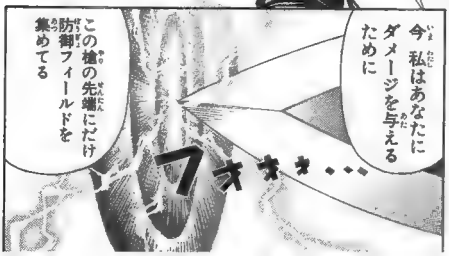
…またか！

どうなっている？

魔法防御の勝るこちらが優位なはずなのに
なぜこうも手こずるのだ？

防御フィールドは
展開する範囲と
厚さによって
消耗する速度が
違う

薄く狭く
展開すれば
長く保つし
厚く広くすれば
すぐ消耗する


今 私はあなたに
ダメージを与える
ために
この槍の先端にだけ
防御フィールドを
集めてる
フォォォ…

ほんの少しの魔具だけど
ここまで限定すればけっこう保ちそうでしょ？
だが
それでは身が守れん

セイッ
ガキィィィ
チッ
魔法じゃあなたが上かもしれない
でも戦闘センスと経験は
キキキ
私の方がずっと上

フィールド全開！
高速移動！

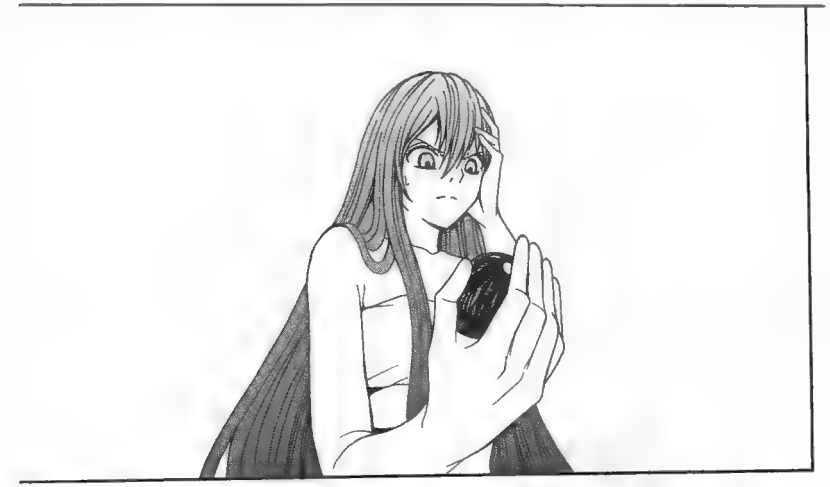
攻撃は全部かわせば
魔法で守る必要はない
魔法といえどルールがわかっていれば恐れることはない
ヒュウウウウ…
鎖部夏村
あなたは私の敵ではない！

ドドドドドン
ドドン
ドドドドン
国防軍が結界への攻撃を再開したか
ヒュゴオオオ
ゴオオオオ
妙な展開になってきたな
この世の理はどうあることを望んでるんだ？

この少年
何を言っている？
錯覚ではない
時間は実際に
ずれている！
姫様は
二年前の空間に
本当に閉じ込め
られているのだ！
葉風さん
あなたはその島で
四か月ほど過ごした
それは間違い
ありませんね？
…ああ

日数はきちんと数えていた
だからこそこことそちらに二年ものずれがあるのは確かなのだ！
——でも
葉風さん
その島に放り出されるまでの時間は
計算に入れていないんじゃありませんか？
……！
あなたは鎖部左門によって眠らされ
数日後に梱詰めにされてそこに放り出されたそう思ってますよね？

でも二年間
こちらで
眠らされた後
樽詰めにされて
そこに放り出されて
いたらどうします?



ああ……
ああ！
眠らされていた葉風さんは
自分の外で二年が過ぎたのを気づきません
目覚めたのが時間の経過がわかる材料のまるでない
無人島ならなおさらです

その時間感覚が狂った状態で
この人形を通して僕らとつながれば

私は
二年後の未来世界と
つながっていると
思い込む……！
ク…っ…
寝てる間に
二年過ぎたのを
知らない奴と聞したら
そりゃ
知ってる西暦が
二年ずれるか
同じ時空間にいても
遠距離だと
時を越えて
会話してるようにも
思えるよな
そうだ
この「時間の檻」は
物理的な檻じゃない
心理的な
錯覚の檻なんだ！

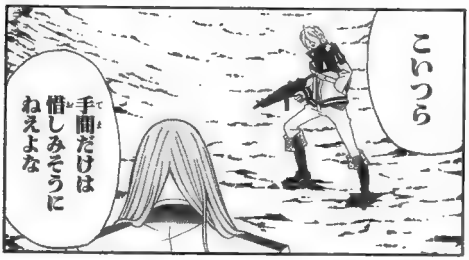
……
ス…
じゃあ
その骨はなんだ？
あの洞一郎ってやつはそれを
葉風のものと言っていたぞ？
二年間も葉風さんの身体を
眠らせたまま自由にできるんだぞ？
レントゲン撮って型取りして
クイ・・
そっくりな全身骨格を作れると思わないか？
この骨もまた
カシャン
僕らをだます小道具なんだよ
カシャン
カラン・・・

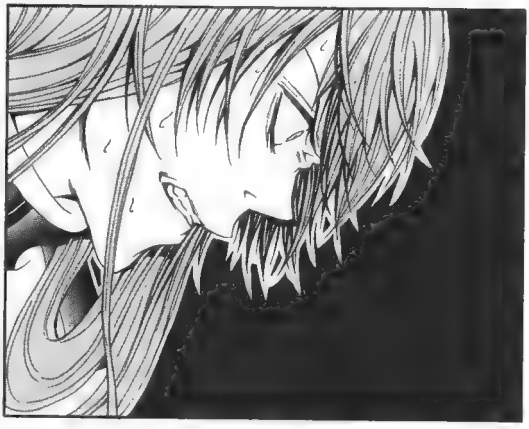
ひとりの人間を
二年も眠らせ
時間の流れを
感じさせない状態を
作るのは難しい

トン
でも

ある程度魔法を
利用できるし
手間を惜しまなければ
なんとかなる
そうしなければ
葉風さんをだませないと
なればやったはずだ

まあ…


こいつら
手間だけは
惜しみそうに
ねえよな



……

真広
これで僕らの勝利条件は
葉風さんの描いたものに戻った
その葉風さんが
「時間の檻」に閉じ込められていないなら…
この魔具を発動させれば——
左門の野郎は葉風をここに戻さざるを得なくなる
くだらぐだ手間はいらず一発で葉風の勝ちが決まるってわけか
最初のオレらの計画通り

いや待て待て待て!!
我らは二年も姫様を
眠らせるなどしておらん
冗談ではないぞ!
ブル
ブル
ブル
そんなでたらめな理屈で
魔具を発動させられるなど!

その骨も残らず全て
姫様のものだ！

これは冤罪だ！
偽証による
冤罪だ！

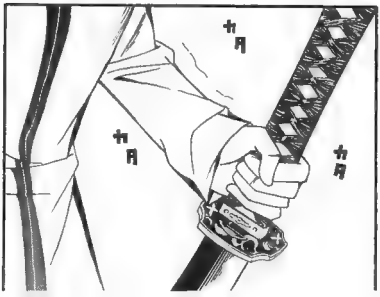
証拠がありますか？

なっ…

業風さんの時間感覚が信用できないとなれば
時間がずれてる証拠なんてありませんよ

だいたいいくら魔法でも時間を越えて会話できるなんて
非常識です

それを信じるのがどうかしてる

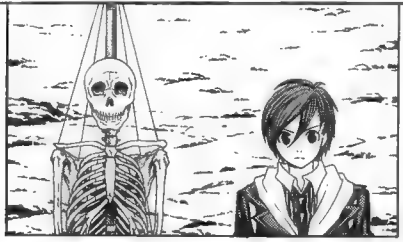


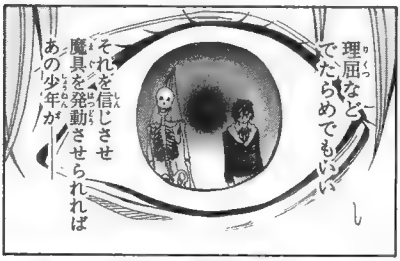
今さら
常識もないだろう！
第二現実に時を越えているんだ！
だが姫様の証言が疑わしいとされれば他にどう証明すればいいっ！
他に……！

真広 魔具を
発動させろ！
それで
葉風さんを
救える！

お前の望みも
かなう
これ以上の悲劇を
避けられるんだ

…しまった!!
あの少年は完全に間違っている…
だがそれは関係ないのだ!
私は別に姫様を戻す方法を持っている
なら魔具が発動させられれば私は姫様をここに戻せる
戻さざるを得ない!




理屈など
でたらめでもいい
それを信じさせ
魔具を発動させられれば
あの少年が

姫様が勝つ！
でたらめでも結果は
同じなのだ！

なんと狡猾な！
一族の総力をかけた本物の「時間の檻」をそんな奇策で破ろうというのか！
ヤバッ
ならん
ならんぞ！
だが時間のずれをどうやって証明すれば……ふ!?

……よし
焦ってる！

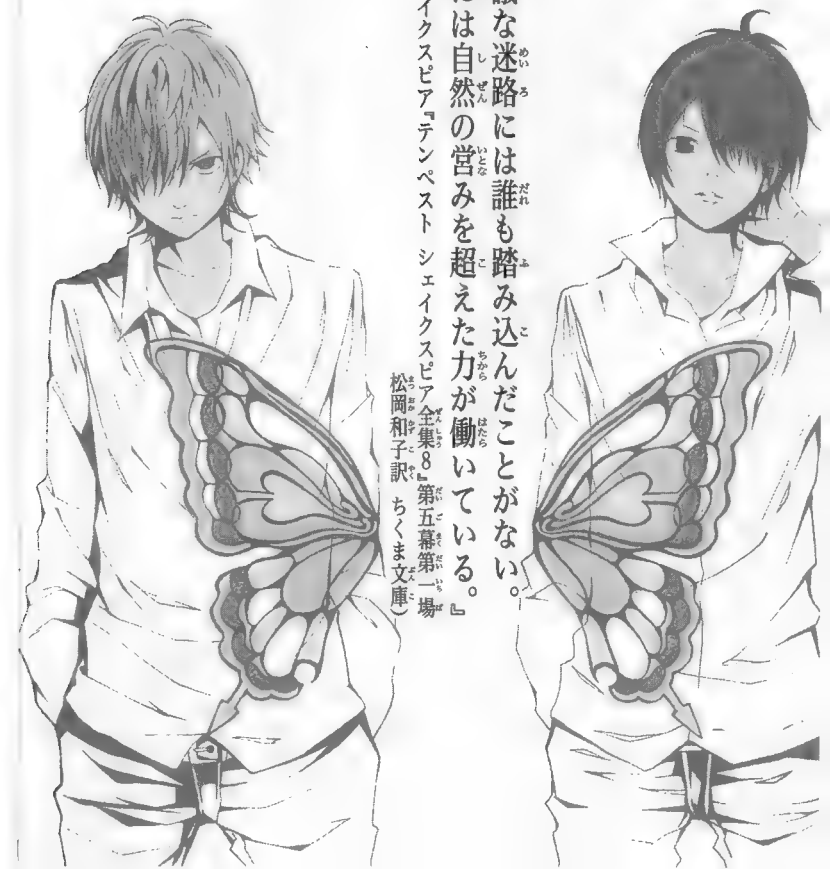
この間に
真広と葉風さんが
動いてくれれば
勝てる！

勝てるはず
……！

絶園のテンペスト

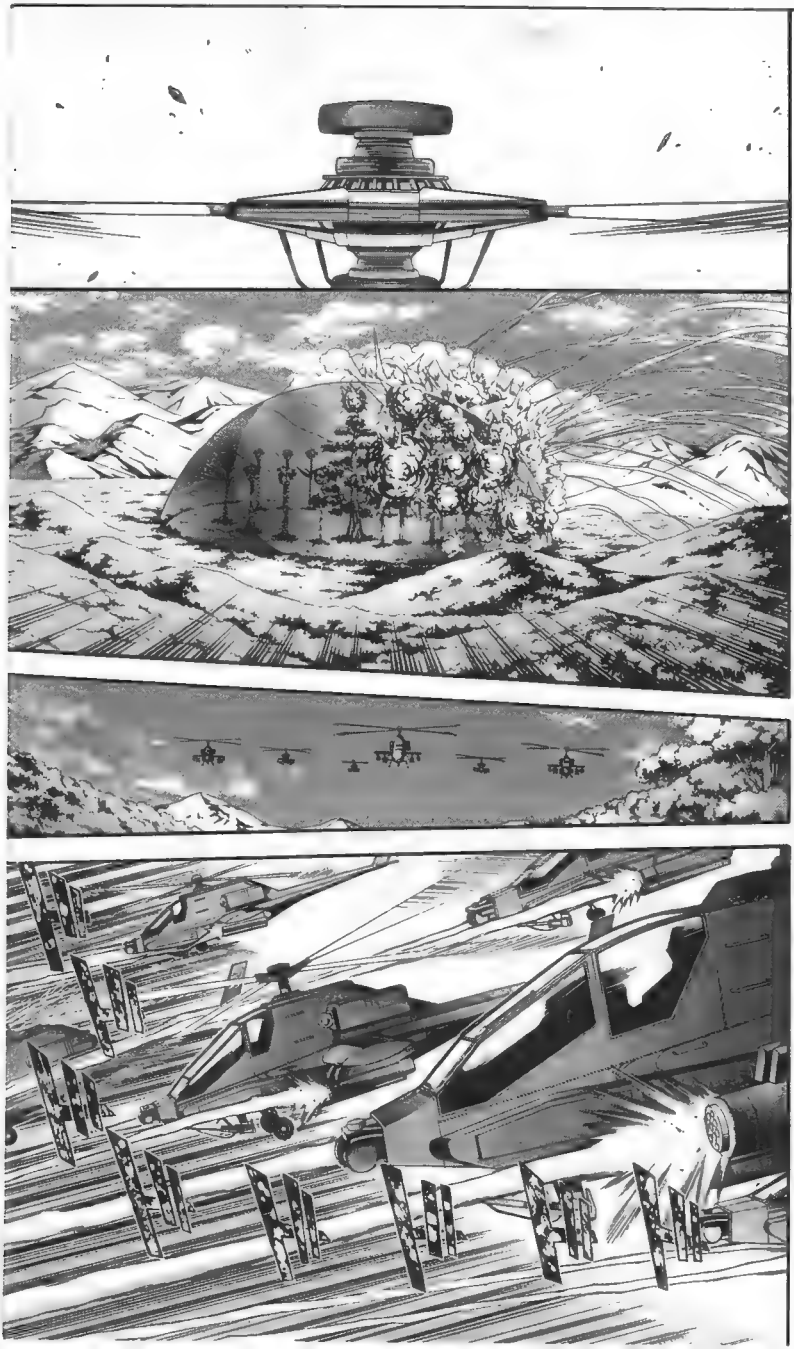
THE CIVILIZATION BLASTER

『こんな摩訶不思議な迷路には誰も踏み込んだことがない。
これには自然の営みを超えた力が働いている。』
（シェイクスピア『テンペスト シェイクスピア全集8』第五幕第一場
松岡和子訳 ちくま文庫）



第十二話：『時の声』

THE CIVILIZATION BLASTER



槍の魔法使いは封じられている！
混乱も収拾された！
怯むな！恐れるな！
弾を惜しむな！

軍の攻撃が
立て直された…!?
夏村は
何をやっている!?
おおっ!!

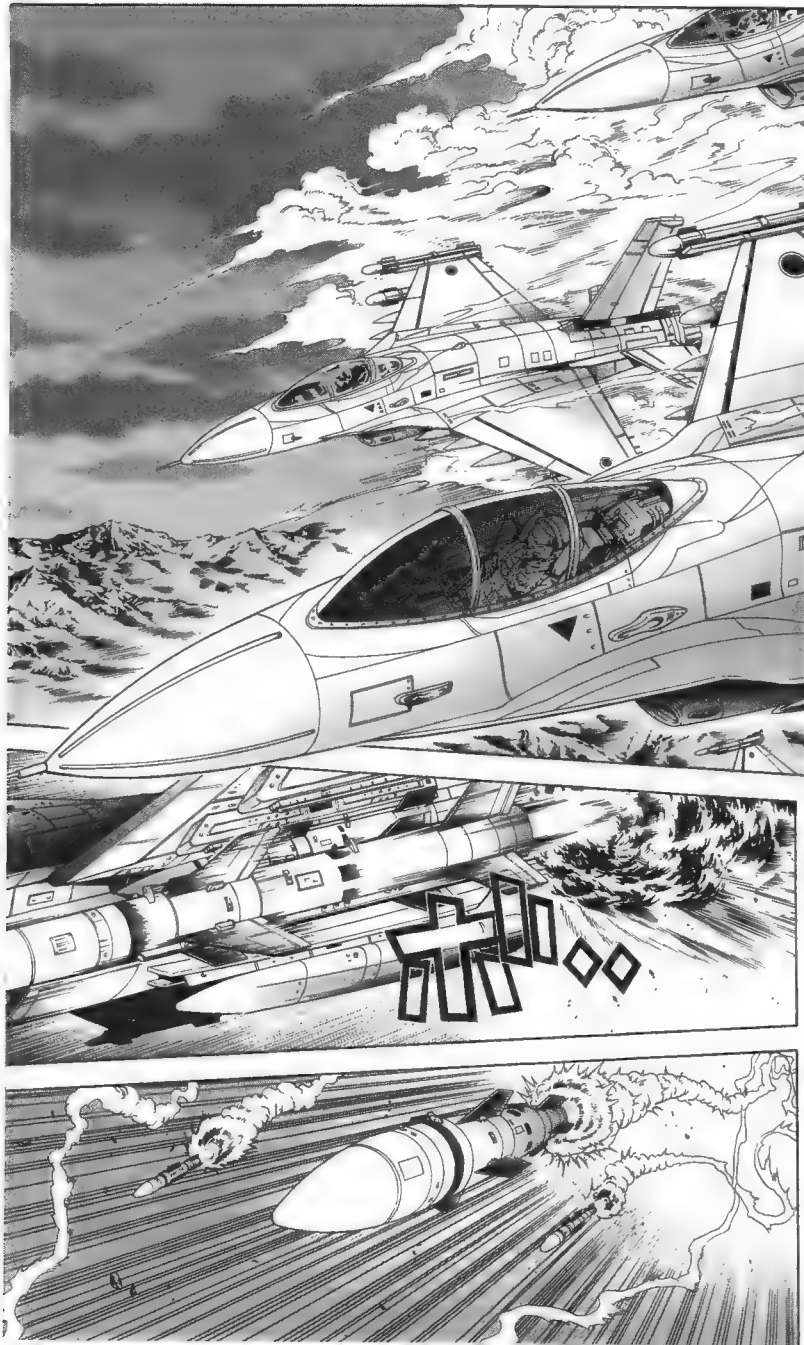
取った!!
ワ。。

何ッ!?
若いね
魔法使い!
ガッ
クッ…

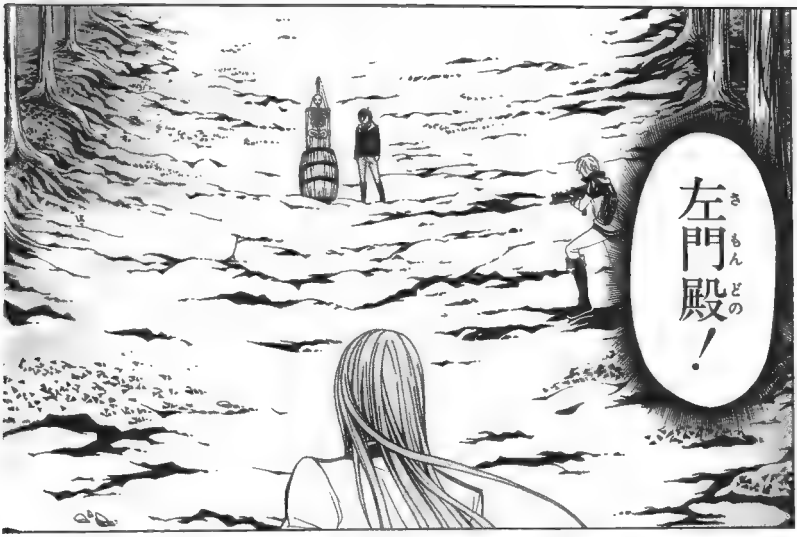
キュルルル
そろそろ槍の攻防に慣れた頃でしょ
武器を変えてリズムを崩させるなんて初歩の戦術じゃない
引っかかるなんて
実戦経験が足りない証拠
ギ
ピン
そうは言っても
こっちの魔具は残り少ない
あちらに落ち着かれたら隙もなくなる
せいぜい焦ってもらわないと
ドン
ドン

魔法使いがいない
今が勝負だ！
この間に全ての
兵器を使い切る
気でやれ！
…来たかっ

航空部隊!!



魔法使いども！
まだまだこちらの火力は尽きんぞ！
哲馬殿！
結界第一層もうもちません！
どうなっているのです…!?


左門殿！

惑わされるな！
お前の友人は「時間がずれていない」ことを証明していない！

魔具を発動していい条件など何ひとつ証明しておらんぞ！

常識的に「ない」ことなんて
証明を求めるべきことじゃない！

この場合証明責任があるのは
「時間がずれている」と主張するそちらです！

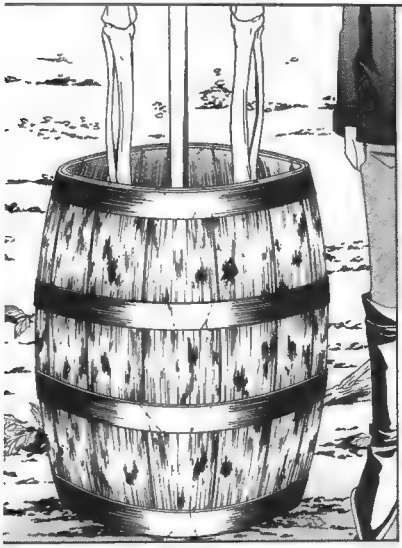
詭弁だ！
まっとうな論理です！
吉野の理屈はったりくさいリスクもまだ高い
だがそいつに乗れるだけの舞台は作ってやがる
左門がこのまま手を打てないなら
条件的には吉野の方が…

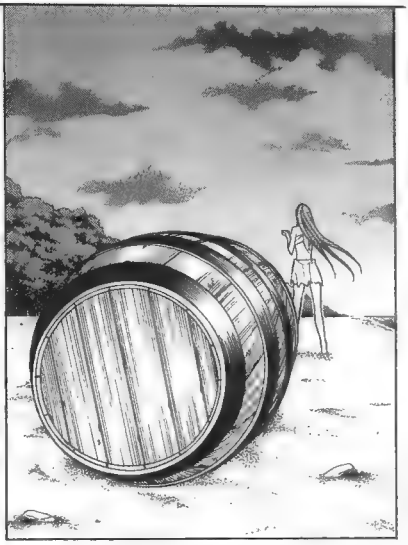
……吉野の論はかなりきわどい
だが左門の態度も腑に落ちん
ザシ
――なら
「時間の雀」に秘密があるからか？
この強手
通すだけの価値はあるかっ

やはり時間のずれを、証明せねば押し切られかねん！
孤島とここに二年のずれがあるのは事実というのに証明に苦しめられるとは!!
あの骨は姫様のものだが
それを今証明するのは困難だ
し
では樽は？
あれも孤島から骨と一緒に持ち帰って……
樽だっ！

その人形で話す姫様の側に樽はあるな？
あるはずだ
ありますか？葉風さん
ああ
樽はある
……
ナホ、最初に確認する

お前が話す二年前の姫様の所にある櫛とお前の側のその櫛は
ひとつの同じ櫛ということだ
同じ証拠はないでしょう？
ここと孤島で二年もの時間がずれているから
同じ櫛が二つの場所で確認できるのだ
私は櫛を姫様の骨とともに孤島から持ち帰った
つまり
だが証拠があれば
時間のずれも証明されよう





何でもいい

姫様に
お前が適当に
決めた言葉を
棺のどこかへ
刻んでいただけ

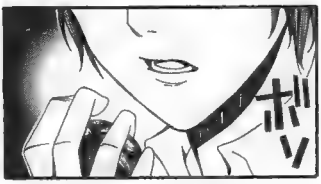
……
そう
くるかよ

二つの棺が
違う棺なら
何もない
だが同じ
棺であれば——

お前が自由に
選んだはずの言葉が
今そこにある
棺に刻まれている
ことになる

いいでしょう
葉風さん
梅のどこかに
これから言う言葉を
書いてください
……
わかった

では
こう書いてください


ボソ

ゴロ。。

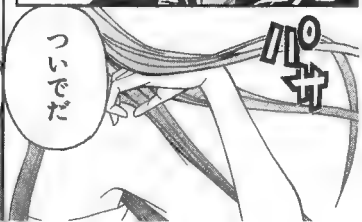
ガリ

書いたぞ
樽の下辺リだ
わかりました
ボトッ
ス…

どういう形であれ
同じ言葉はある！
これで決まりだ！

やっぱり
同じだったか

僕の言葉通り
刻まれています
なぜか
びっくりマークも
刻んでありますが


ついでだ
パサ

どうやらこの
二つの棺は
同じ棺で
間違いないな

結論が出たようだな
ひとつの檻が別々の場所に同時に存在することはできない
チャ..
できるのは孤島とここで
大きく時間がずれている場合だけだ!
少年
証明終了だ
お前の奇策は破れた!

いくら魔法使いでも
音速で飛ぶ戦闘機に触れることはできまい！
勝ち目はある！
予想外だっ！
なぜこれほど大量の航空の戦力を繰り出せる！
政府にこんな決断力があるなど予想できるか！
夏村が自由に動けてもこれは対応できるものではない

では
どうする…
ドン
ドン
ドン
結界の一層二層の
維持は一時的に放棄！
その人員を復活の
儀式に回せ！
儀式を
加速させる！
軍がそう来るなら
こちらも手段は
選ばん！
うまくすれば
一瞬であの大軍を
屠れるはずだっ！
ハァ
ハァ

魔具はあと保って五分くらいか
フー
その倍は食い止めたいわね！
チャ…
…認めよう
我が武技ではそちらに及ばんのを
だが
こちらも負けられんっ！

フィールド全開
最大最速っ！
あ…
しまっ…

しまった…！
防御フィールドを急速拡大して攻撃に使うのは予想できたのに
拡大速度に反応しきれなかった……！

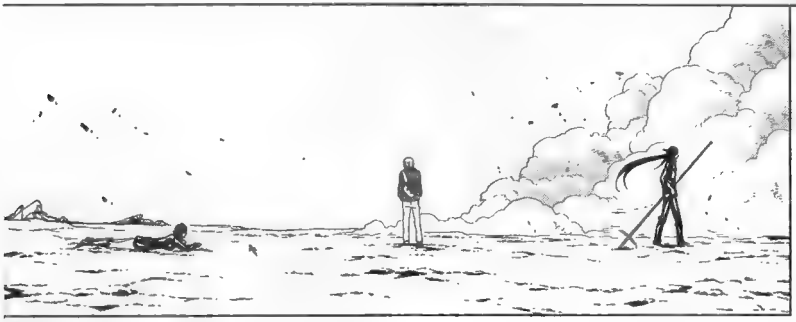
ゴ!!
かはっ

うわっ…あばらが半分くらい砕けた?
内臓は無事かっ!?

うっ…
かはっ
ゴフッ

致命傷ではない
ただし
下手に動けば
臓器が破裂するぞ
くっ……
敬意を表する
今のでこちらの魔法防御を大きく消耗した
ス。
再び拳の攻撃をしのぐには手間どろう
こちらが勝ったとはとても言えん
ガッ
しばし休まれよ
その間にこの戦いは終わらせる

……ッ
ドン
ドオオン
せめて
あと五分…
持ちこたえられれば…
待ちなよ
夏村君



やあ

せんべい

潤一郎……
…殿！

お菓子もあるんだ
もう少しつき合いたまえよ
ガサ！

？

これで
あの友人との取引は消えたな

お前も不用意に魔具を発動させようとするな
じきお前の妹を殺した犯人を連れてくるゆえ…

いつまでうなだれてんだよ

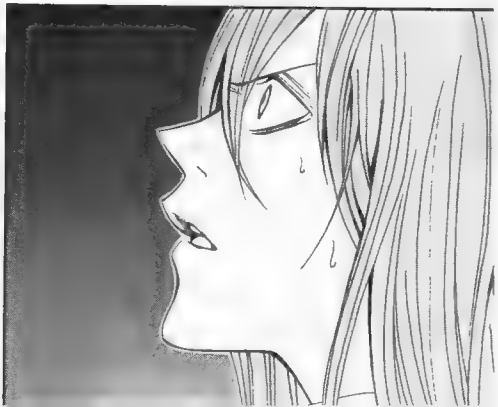
そうだ吉野！うなだれるな！
いや先にうなだれた私が愚かだった！
吉野
結論は違っていたが貴様の考え方は正しい！
この世の理は私の味方だ！
私も感じた
左門は何かを隠している！

時間を越える方法は
まだ具体的にはわからん！
だが
あきらめるな！
貴様ひとり
では無理でも
私の魔法の知識を
重ねれば必ず
見つけられる！
方法はある！

ああ
確かに方法は
ありそうだな

実際声は時間を越えてるんだ
魔法をどうにか応用すりゃ肉体も越えられそうじゃねえか
おい
何を言っている！
私との取引を無視する気か!?
約束が違うぞ！
約束は守るさ
愛花を殺した奴が連れてこられれば
葉風も吉野も切り捨てる
この魔具も
肝心の時間を越える魔法がわかんねえのに発動させたりはしねえ
だがな

お前に「うまくだまして出し抜いてやった」っていい気になられるのはむかつく
だから
時間を越える方法をちょいと考えるかって気分になっただけだ



吉野
頭切り替えろ
ていうかお前
最初からこうなるの狙ってたろ？
時間を越えられるのは確信できた
でも短時間で魔法の知識もろくにないのに
僕だけでその方法を見つけるのは無理だ

でも

僕だけじゃ
なければ

葉風さんと真広が
動けば けっして
不可能じゃない

三人なら必ず
方法にたどりつける

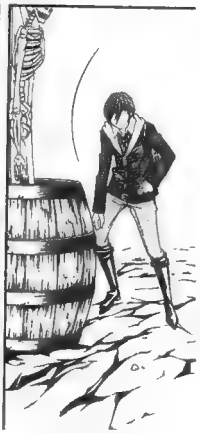
無茶な仮説を
わざと左門にぶつけて
動揺させ
葉風を立ち直らせる
きっかけにする
ついでにオレも
そんな気にさせる
狙ってなかったとは
言わせねえぞ？
そんな…
私は……

私はあの少年の思惑にはまっていたというのか!?

吉野

貴様
意外に…
性格悪いな!

喜ぶのはまだ早いですよ



愛花ちゃんを殺した犯人がここに連れてこられる前に
ヤニ
時間を越える方法を見つけなければいけません

でなければ真広は左門側を優先します

そうだな 真広？
ああ
その方法がオレに都合の悪いって可能性もある
チャ・
今の段階じゃ葉風側にはつけねえ
ただ――
犯人が連れてこられるまでは
その方法を考えるくらいはしてやるよ

では
破るぞ
「時間の檻」
を！
方法は
必ずある！

絶園のテンペスト

THE CIVILIZATION BLASTER

第十三話：『時の娘』

カチ
カチ
マヒロ

キスとは
どういう感じが
するものですか？
朝から
何言ってんだ？
愛花
中学の時から年上の
女性と何人もお付き合い
していると噂のマヒロ
ですから
カチ
いえ
キスの十や二十
しているものかと
私はしたことが
ないので
初めての時
戸惑わないためにも
お前がなぜ
そんなことに
興味を持つ
そうじゃ
なくてだな

僕もしたことないなあ
吉野さんは
していなくて当然です
——それで
どうなんですか？
たまには兄らしい助言の一つもしてください

キスとか何とか
十年早えよ
もうちょっと女らしく
肉がついてから
言いやがれ
…やっぱり
使えない
人ですね
ピッ
どうせ相手も
いねえのに
何言ってやがる
だいたい愛花なんかに
手え出す物好き
いるわけねえだろ
いても許さねえ
そこは
許せよ
ダメだろ
オレの
妹だぞ

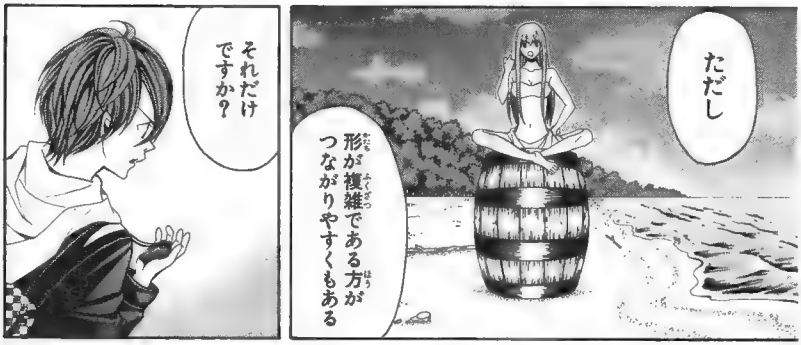
フウ…
それはダメな理由になるのか？
なるだろ
彼女
今度
吉野さん
初めてどうし
今度しましょう

今度が早いといいんだけど…
パチ
ダッ
――ああ　なぜ
『彼女』は
殺されたのだろう――…

これで
ｸﾞｯ
葉風さんの
戻る道は
つながった――
愛花ちゃんの死は
悲劇で終わらない！
陽がいつも東から
昇るように
月が変わらず満ち欠け
するように――……
世の理に守られた
姫様には
どうやっても勝ちが
巡ってくるというのか？

葉風
とりあえず
オレらがその人形で会話できる理屈はどうなってんだ？
最終的に魔法を使ってるにしろ
それ以外にも必要な条件があるんじゃねえか？

ああ
まず同じ形と大きさの「もの」がひと組必要だ
「同じ」であることによってその「もの」が一種の共鳴を引き起こしつながりが生まれる
板でもいいし私のように人形でもいい


ただし
形が複雑である方がつながりやすくもある
それだけですか？

いや
その「もの」には
術者の体の
一部分を埋め込まねばならん

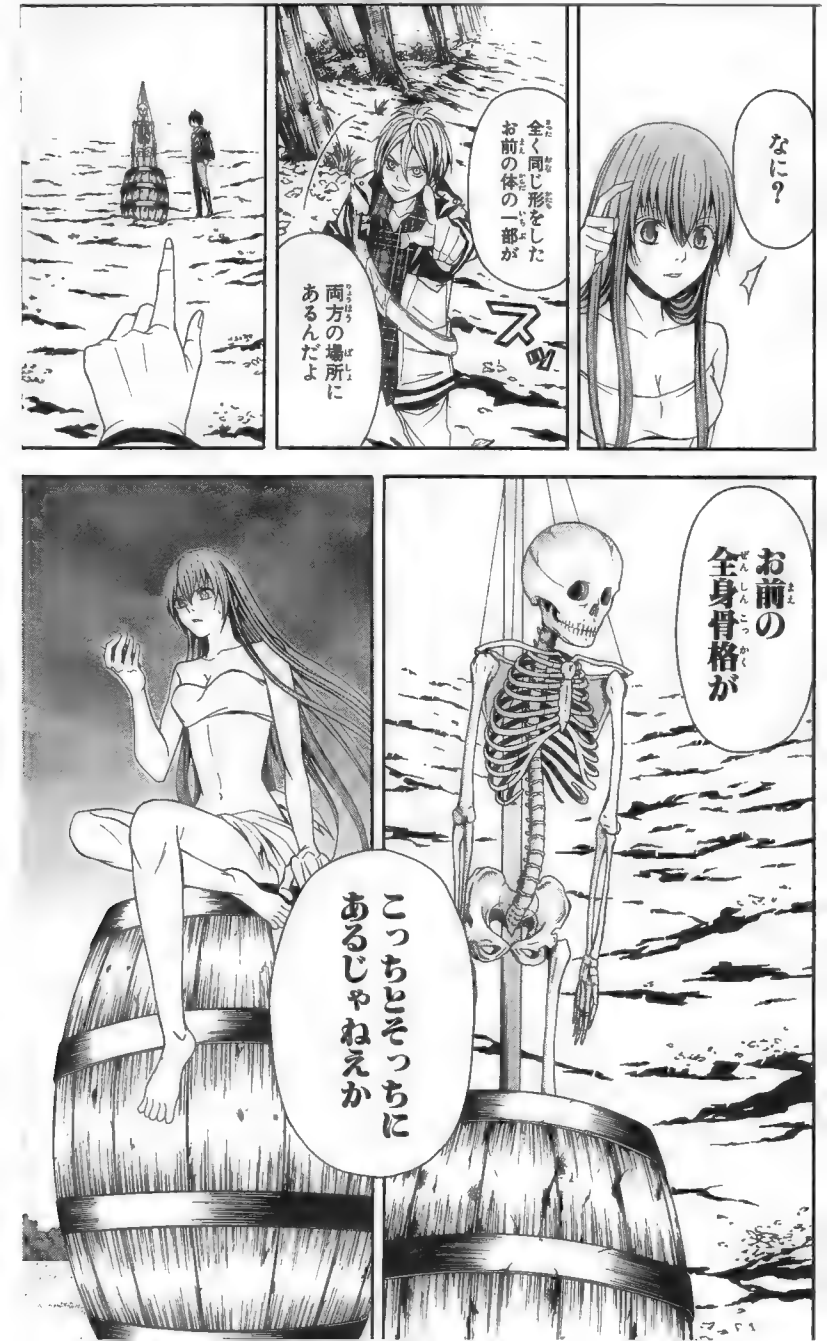
魔法使いの
肉体の一部が
入ることによって
それはいわば術者の
分身となって
声を発するのだ

あれか
わら人形に
呪う相手の髪の毛を
入れるとかいうのと
同じ発想か？

そうだな
術者の部分が
多く含まれているほど
つながりは強くなる
この二つの
人形には
私の血液が大量に
染みこませてあるぞ

…その発想で
いくなら――

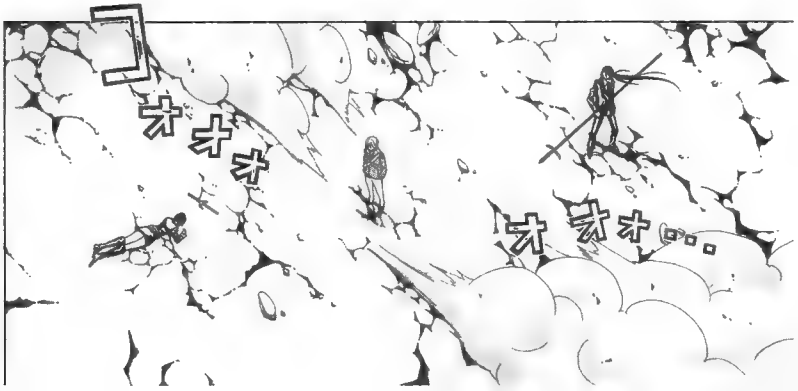
十分に複雑で同じ形のものと
十分な葉風さんの体の一部が
ここと孤島の両方にあれば
肉体も時間を
越えさせられるってことに
なりませんか？
声と体を
一緒にするな
電話と
物質転送機は
違うだろう
○
×
……
いや…だが
魔法理論的には
可能か…？
ちょっと待て
術をさらう
応用できるものが
あるかもしれん
トン
「はじまりの樹」にも
うかがいを立てて
みれば……
トン
葉風
可能だったら
時間を越える条件は
揃ってるぞ


なに？
全く同じ形をした
お前の体の一部が
スッ
両方の場所に
あるんだよ
お前の
全身骨格が
こっちとそっちに
あるじゃねえか

あ…！

…そうだ
その骨が時間の檻を
破る鍵だ!!

姫様が
勝つための
鍵…！


オオオ
オオオ…

どうしてここにおられるのです
チャキ
潤一郎殿？
大学が休講だったんでぶらっとね
だめかい？
素晴らしい活躍でしたお姉さん
後は僕に任せて飲み物もどうぞ
…あなたも魔法使い？

いえ あいにく その才能はなくて
留年を重ねてる ただの大学生です
魔法使いの足止めは 得意ですよ
ただし
ギリ・・
澗一郎殿の 中立のあなたが
我らの邪魔を されるのですか?
世界の存亡が かかっているのですよ!
ドキキキキ
あの攻撃が続けば続くほど 我らの世界が消滅する危険が 高まるのですよ…!?
なぜ我らを否とする 判断をされたのです!?

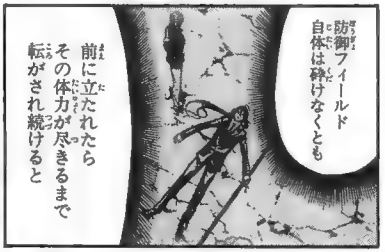
決まっている
あのお姉さんの乳が
いい感じに揺れていたからだ！
エ…
そんな人を動けないなんて男じゃないだろう！
違うかい!?
…違います
……
大丈夫なの？あれ？
まあ
理由はいいじゃないか

気に入らなければ
実力で変えてみせたまえ
なっ…！

柔道や合気道
その道の達人に
技をかけられれば
何をされたか
わからないうちに
地に転がっている
いいます
魔法使い相手でも
同じことですよ
ニコッ
左門さんから
聞いてるかい
僕の技のこと？

…魔法使いの防御フィールドは外部からの衝撃を打ち消すとはいえ
キリ…
それが反応できないほど柔らかく自然なタイミングで力を加えれば
そのフィールドごと内部にいる者のバランスを崩し転ばせることができる
そうでしたね？
その通り
ただし
防御フィールドに素手で干渉し転ばせるタイミングを見切るのは至難だ
これができるのは先代鎖部の長・麻耶様にそう育てられた僕だけだよ
本来なら万が一の際
ジャリ
葉風ちゃんを少しでも足止めするために身につけさせられた技だけど
今回はきみに使わせてもらうよ

左門殿によれば
潤一郎殿は達人


防御フィールド自体は砕けなくとも
前に立たれたらその体力が尽きるまで転がされ続けると

しかし潤一郎殿に使えるのは
その転ばせる技だけ

なら有効な対処法はひとつ
潤一郎殿とはまともに戦わんことだ!

魔法で一気に加速して軍の中心まで移動すれば潤一郎殿は追って来れん
銃弾と砲弾の飛ぶただ中では潤一郎殿は無力

…恐れて逃げるのではない
戦略的撤退だ!

よし
加速して離脱…
させないって

逃げるなら
僕に呼びとめられた
直後にすべきだったよ
ポン
ポン
夏村君
こうなれば
当分
きみがまともに
立っていられる
時はない
くっ…
ビュッ
だめだ
ぬけだす
…何が何だか
わからないけど
風はこちらに
吹いてるみたいね

そうか！
時間がずれているゆえに
私の体内とそちらの両方に
私の骨が存在するのだ！

私自身の
体なのだ
共鳴、接続する物体として
これほど強力な
ものはない！

これは
いけるか？
応用が効くか？

だが
真広
タイム
パラドックスは
どうする？

これは
間違いなく
葉風さんの骨だ
でも葉風さんが
時間を越えて
ここに戻れば
葉風さんは島で
骨にならない
なら左門は骨を
回収できないから
ここに骨はないはず
でも骨はある
ないはずの
ものがある
この矛盾を
どうする？
だったら
骨だけ残して
時間を越える
なんてのはどうだ？
!?

葉風
お前の骨はこっちにあるんだ
そっちに骨だけ残し
それ以外の肉の部分を
こちらの骨に移し替える
っていう発想で
何とかならないか？
骨を残し
肉を移し
替える…!?
肉だけ時間を
越えさせるんだ
骨はちゃんと島に残る
左門はその骨を
回収してここに
帰るした

これでどこかに矛盾が出るか？
過去
現在
時間の壁
魔法発動前
魔法発動！
魔法完了後
…骨を共鳴させ
肉だけ時間を越えさせてこちらの骨の上で再構成させる！
それならパラドックスは起こらないし
骨を通信具と考えれば声を肉にしただけで会話できる理屈とも近い！
正解だ
だが何もかも見抜くのが早すぎる！
その発想に至るまでいくつの障害があると思っている？
「はじまりの樹」が正解を導かせる理を操っているとしか考えられんではないか…

あの少年達も
真実を直視すれば
考えを変えることも…
いける！
法と術はしかと見えてはおらんがおそらくいける！
だが時間を越えるほどの魔法ならば
「供物」として相当なレベルの「文明の産物」が必要だ
この島ではそんな供物は手に入らんぞ！
なければ魔法は使えんそれをどうする!?
供物ですか
それなら多分……

少年達よ
いま少し
話を聞いて
もらえまいか

押せ！
迷わす
押し続けろ！
あの壁の限界は
近い！
イイイ
キイイイ

あと一押しだ！
あの壁は破れる!!
破れないわけがないっ！
戻れ！
戻れ！
戻れ！

結界第二層崩壊！

第二層に振動発生！

今は無視しろ！

復活の儀式を置ねる！

今は「絶園の果実」を

ひとつでも多く速く飛ばすのを目指す！

…じき状況は変わる

結界も維持できる！

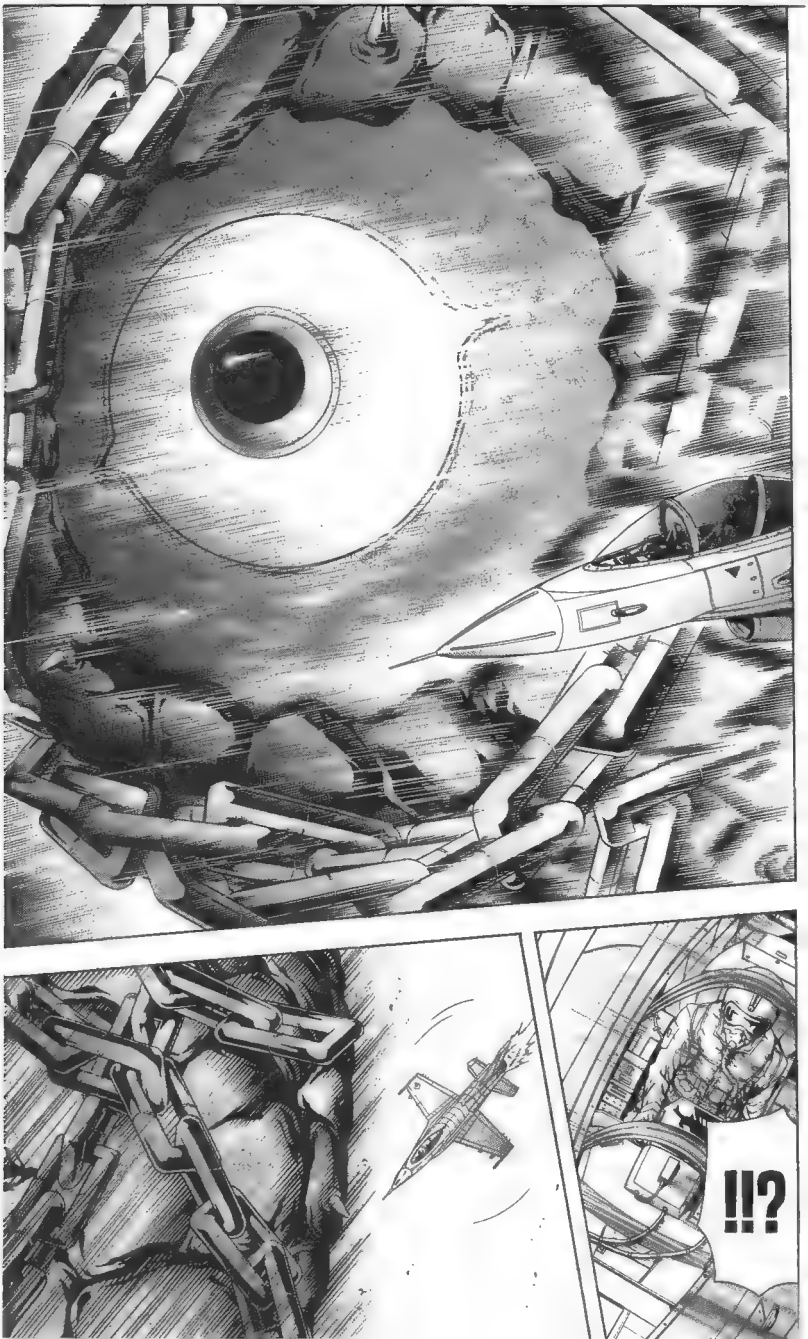
あと一歩！

五か所で蠍の異常発生を確認…!?

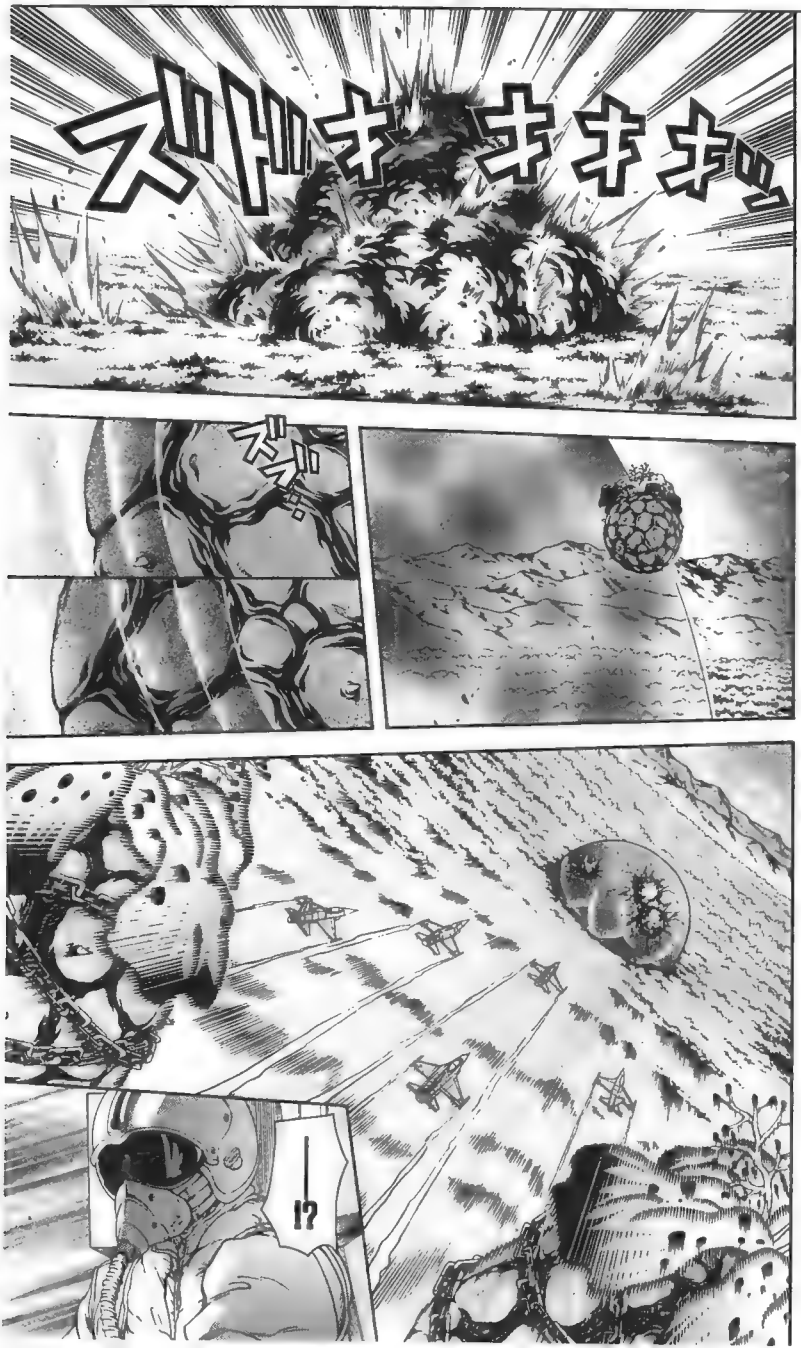
ここに来てか！

「果実」もかなり前に飛んでいます！
衛星で確認！
高速で富士山麓へ向かっています！
くそっ
これまでより荒っぽくなりか？
被害も死者も桁違いになるぞ！

果実はあと
いくつある？
魔法使い攻略は
間に合うのか…？



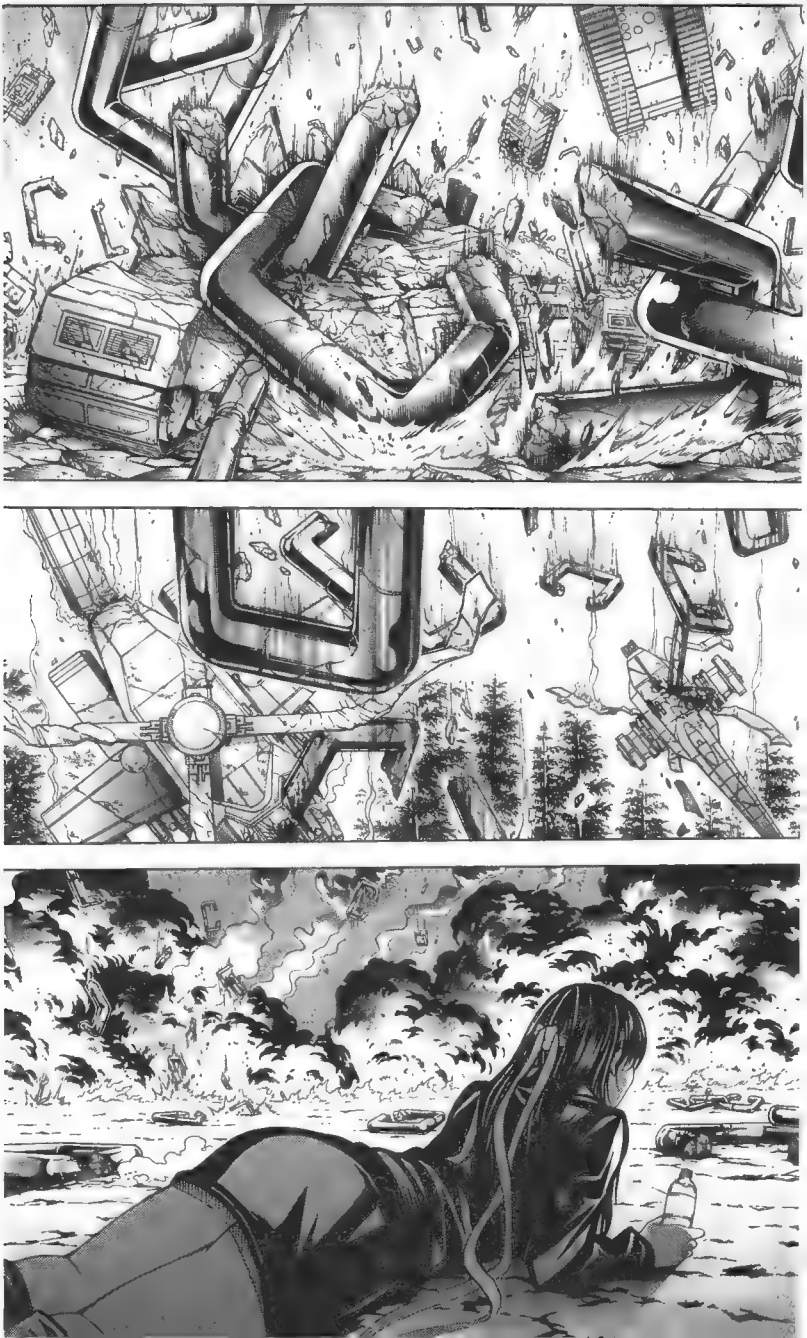
ドガン
ドガン
ドガン

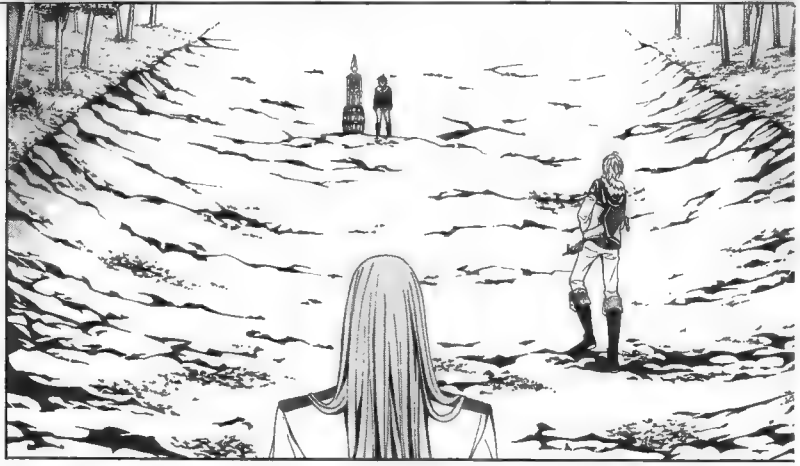

ズドドド

ッ……!!
うわっ!!
こ…航空部隊が…
立て続けに…!?
ひ…卑怯すぎるだろ……こんなの…!

よしっ
狙い通り！
だが
まだもう一撃期待できる！
何だ…!?

そんなっ…!?



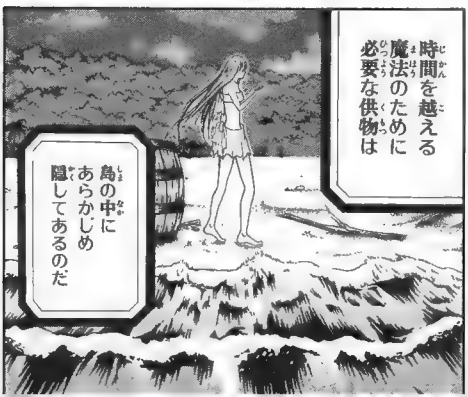


お前達が導き出した時間を越える方法
完全な正解だ

加えて言うならもし我らが復活の儀式に失敗した際には
早急に姫様と連絡がつくよう――

その柳の一部に私の血液を染みこませ通信具となるようにもしてある

よって
姫様がこちらに戻れるだけの供物…


時間を越える魔法のために必要な供物は
島の中にあらかじめ隠してあるのだ

読み通りだ
堅実が信条な人だけにやっぱりそうしていた！
その供物が使用されたかどうか
骨と椀の回収に行った際確認できなかった
急に海が荒れてその時間がなかったのだ
――少年

出来すぎとは
思わんか？
姫様が勝つよう
何もかもが
「はじまりの樹」に
運命を操られている
とは感じんか？
よせよ
何言っても
負け惜しみだろ
だが
少年
お前もまた
運命をねじ曲げられた
ひとりであろう

お前は
妹の復讐のために
ここに来たのだったな
だが都合よく
お前や
お前の友人のような
特異な者が姫様に
手を貸す状態に
なったのを——
偶然と
言えるものか？
偶然ではない

「はじまりの樹」の企みだ！
お前が姫様に手を貸す状態になるよう「はじまりの樹」が理を操作してお前の妹を殺したのだ！

お前の妹が死んだのは

姫様が島に放置された後であろう！

あ……！
ならば
少年

お前が本当に復讐すべきは
妹を直接殺した犯人ではない
そのように運命を操り理を仕組んだ
「はじまりの樹」ではないのか？
バサ
バサ
バサ
「はじまりの樹」が…
私のために真広の妹を殺したとするなら……

お前が姫様に
味方するのは

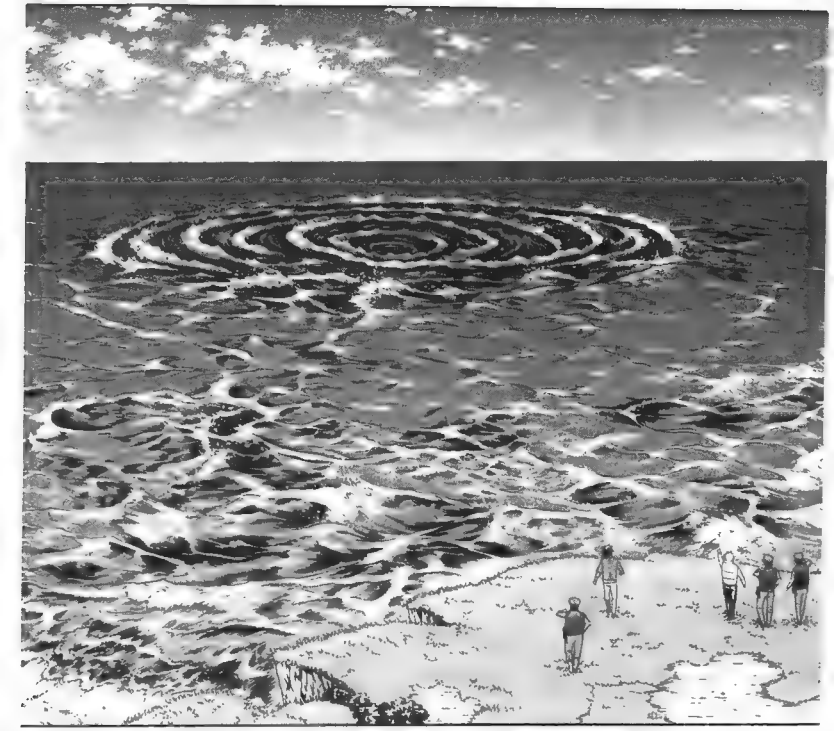
お前の心に
かなっているのか？

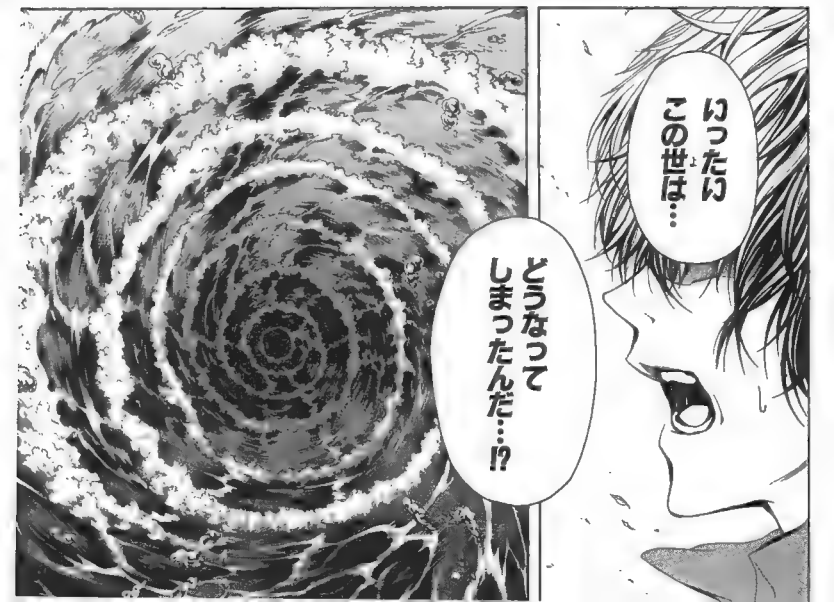
絶園のテンペスト

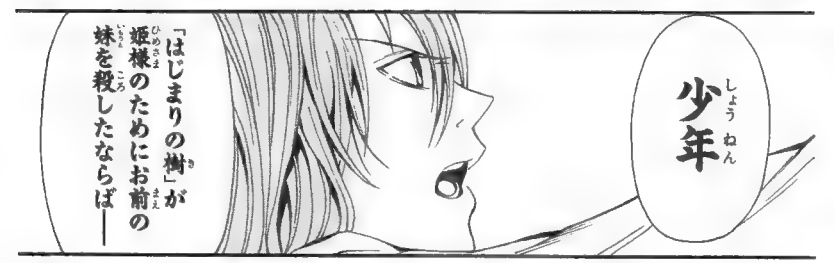
THE CIVILIZATION BLASTER

第十四話(だいじゅうよんわ):『大渦巻(メエルシュトレエム)に呑(の)まれて』

大平洋側
日本近海——
…あんな大渦
見たことないぞ？
まるで…
海から怪物でも現れそうな…




いったい
この世は…
どうなって
しまったんだ…!?


少年
「はじまりの樹」が姫様のためにお前の妹を殺したならば――

お前が姫様に手を貸し続けるのは
理にかなっているのか？

――僕も
前に感じた

愛花ちゃんの
死は
葉風さんにとって
都合が良すぎると

私も感じた
真広の妹は
私のために
殺されたようだと
——でも
葉風さんが島に
流される前に
愛花ちゃんは
殺されたはずだから
因果関係はないと
思い込もうと
していた
けど時間は
二年もずれて
たんだ！
だから
実際は…
実際は
私が流された後に
真広の妹は
殺されていた！

これでは「はじまりの樹」が私のためにそう仕組んだと言われても否定できん！
私が真広の妹の死の原因だと…！
ッ…
少年
真に倒すべきは「はじまりの樹」だ
その理不尽な意志を砕かずしてお前の復讐は終わらん

その支配があるかぎり
我らは樹の奴隷に過ぎんのだ！
少年
我らとともにあれ！
理を我らの手に取り戻し
本当の意味で世界を救うのだ

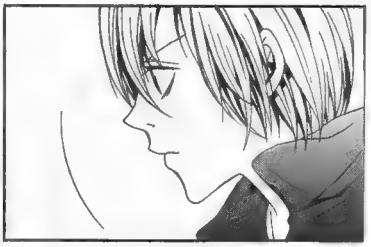
クッ…
期待以上の成果だ…！
まともに軍を巻き込んでくれたか！

……しかし
人が死にすぎたか
「樹」による結果は我らに反動がないといえ
喜ぶことでもないな…
何てことだ…
軍が……
これほどの兵が……
事実上軍は壊滅したみたいだね
攻撃も止まっちゃったし

これじゃあ
僕の足止めも
無意味か

お姉さん
すぐにでも
同じ規模の攻撃を
かける準備が
軍にありますか？

まさか
あれだけの兵を
動かすだけでも
どれだけ無理を
したと思う？



じゃあ
夏村君

お互い無駄な
争いはやめて
休もうか
軍を混乱させるのが
任務の君もやることが
なくなったろう

最初から
無駄な争いでは
ありませんか

世界の
行方は
あの二人の少年に
託されたって
ことか？

真広
よく考えろ！
ザッ
それを言うなら最初に左門達が葉風さんを島流しにしなければ
愛花ちゃんを死なせる理は仕組まれなかったはずだ！
だったら
ス…
愛花ちゃんの死の原因を作ったのは
左門達なんじゃないか!?

「絶園の樹」復活のために
愛花ちゃんは機性にされただけなんじゃないか!?
くっ…
だがこの世のために「絶園の樹」は――…
それに!
愛花ちゃんを殺した犯人は
鎖部一族の誰かだ!
それを考えたって
左門達につくのが正しいとは思えない!

吉野の
その言い分は正しいかもしれんが
私の責任が消えるとも思えんぞ？
…いや
吉野が意味なくこんな見苦しい真似はせんか？
ならこの反論は…
そうか！
時間稼ぎかっ！
僕の言葉で今の真広が迷うかはあやしい
でも少しでも迷えば
薬風さんが「供物」を見つける時間が稼げる！

左門はこの島に時間を越えるだけの「供物」を隠したといった
また緊急の場合私を呼び戻す気であったとも
なら供物をわかりにくい場所に隠すはずがない
見つけるのに手間取れば緊急に間に合わんかもしれんのだ！
そうと考えれば隠し場所は限られる
天候や自然現象で破損・劣化しない場所となればなおさらだ！
広くない島だ自力で見つけるのも不可能ではない！
吉野

感謝する

貴様には生涯をかけて感謝しよう！

…愛花ちゃんが死んだのは葉風さんのせいかもしれない

グ…

でもだからといって

葉風さんを見捨てるのは間違ってる

愛花ちゃんのためにならない気がするんだ…！

悩むのは後だ

真広
貴様には
いくらでも
謝罪する
償いもする
だが
グッ
この過去にいては
何も償うことは
できん！
だから私は
そちらに戻る！
何と
してでも！

必ず「供物」を見つける
見つけられるのが私の理だ！

……

あの少年……
どこまで状況が見えている？
あなどれん……

それならば！

鎖部の者が犯人というのも出来すぎだ
それも我らを敵対させるためこずるく仕組まれたようではないか！
トッ
その犯人は「はじまりの樹」に意志を奪われ
人形のように操られたとしか思えんぞ！
そもそも鎖部一族の者が殺人を犯すなどということ自体
ほぼ考えられん！
一族の者なら誰でもわかっている
我らが殺人を犯すのはリスクが大きすぎるのだ

ゴボッ
うはっ…
これ…
折れたあばらが
肺に刺さったかな?
…夏村君
治してあげなよ
あのケガのせいで
死んだらきみも
困るだろう?
傷
魔法で
治せるの?
致命傷や病気は
難しいですが
骨折くらいなら
あっという間ですよ

失礼
樹の中の樹
大樹の中の大樹……
ポロ
……！
痛みが…
…お礼を言ったほうがいいかな？
いらないですよ

その傷で死なれて困るのは夏村君なんです
一か月くらい魔法を使えなくなりますから
潤一郎殿！
鎖部一族は理を守る「はじまりの樹」に仕えるため
理をみだりに犯す行為は禁じられています
中でも「殺人」は最大の禁忌です
鎖部の魔法で壊れたものや傷はなおせても命は取り戻せませんから
もし直接その手で人を殺せば
反動として魔法が使えなくなるんです
再び使えるようになるには「はじまりの樹」に許しをこう儀式が必要で
これに一か月はかかります
それに

儀式を行ったか
どうかは
一族で高い地位にある者が調べればすぐわかります
たとえ「はじまりの樹」に許された後でも
そうとわかればよほどの理由がない限り一族内で厳罰に処されます
魔法を悪用させないためにも絶対にそうします
哲馬殿
一年前に一族で殺人を犯した者の調査ですが…
ああ
カッ
終わったか

それで
犯人は誰だ？
だから
鎖部の者は
その魔法の力で
完全犯罪を行えても
直接人を殺す
ことだけはしません
隠していても定期的な
調査で見つけられ
罰されます
鎖部の者は
魔法の力をみだりに
使えぬよう
樹の力と
一族の掟に
強く縛られて
いるんです

…ゆえに

鎖部の者が人を殺し隠しているなど

普通はありえんのだ

……

そうなんですか葉風さん？

ああ

それでも

鎖部の者が犯人なのは間違いない

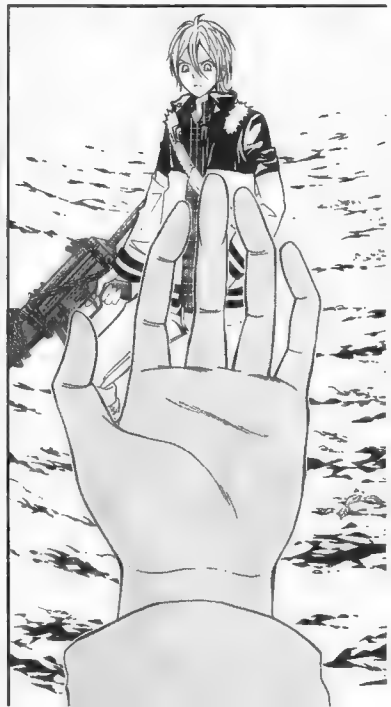
私も何度も疑った

だが探査した際に
魔法の網に
何者も掛からなかったのだ
…掛からなかった？
どういうことです？
人を殺すなどという理を犯せば本来「はじまりの樹」の網から逃れることはできん
ただし例外がひとつだけある
「はじまりの樹」にその罪を許された者だ
その者だけは人を殺しても網には掛からん
…つまり
「儀式」を行って許された鎖部の者ですか？

そう
許されずでに
理を正されたゆえ
網に掛からん
そして
その特権を持つのは
鎖部の者だけ
チャラ
魔法の網に誰も
掛からなければ
犯人は鎖部の者としか
考えられない
掛からぬゆえに
鎖部の者も実質
網から逃れられんのだ
姫様の魔法に
間違いがあるとは
思わん
この一年ばかり
「絶園の樹」復活にかまけ
理を犯した者の調査を
していなかった
この大事にそんな
愚かな真似をする
一族の者がいるとは
思わなかった

見ろ
何もかもがお前達に都合良すぎる！姫様を利している！
生も死も全て
「はじまりの樹」の思うままだ！

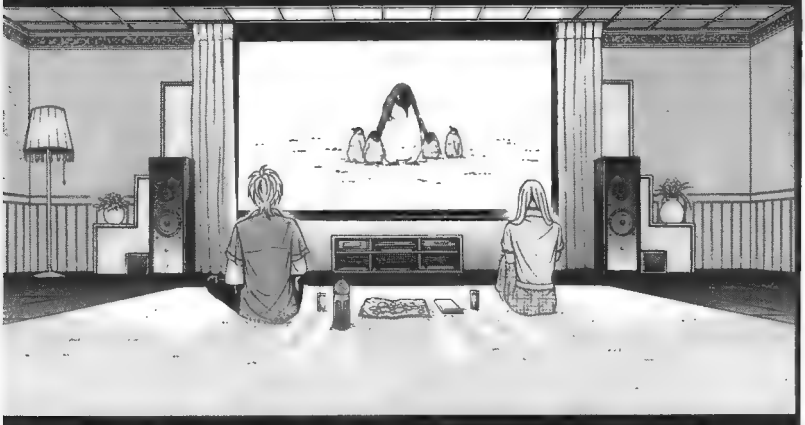
そこから自由になろうとは思わんか!?



ゲブ
ゲブ
ゲーブ
左門は供物をどこに隠した？
見つかる
見つかるはずだ！
トポン
ブポポ
私が望むかぎり見つからないわけがない！

真広……
軽はずみな
行動はするな
頼む…！
いま少し…
いま少し考えよ
何が正しいかを……！

※「テンペスト」シェイクスピア(第五幕 第一場)松岡和子訳 シェイクスピア全集8 ちくま文庫



「ハムレット」のじゃねえな
覚えがねえ
セリフを全部覚えているとでも？
まめですね
そして動機が不純です
「われわれはみんな大悪党だ
男など誰も信じちゃいけない」
※「ハムレット」シェイクスピア(第三幕 第一場)野島秀勝訳 岩波文庫
覚えたんだよ
お前が嫌味ったらしく引用するのにやり返すのに
機嫌が悪いですね
吉野さんとケンカでもしましたか

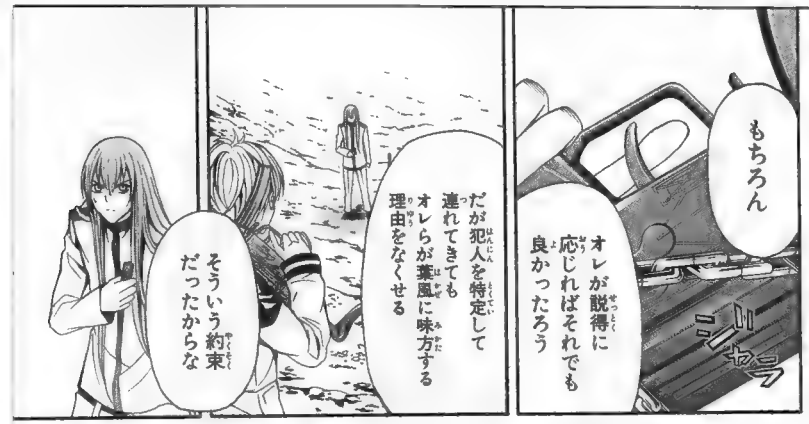
あいつが悪いんだ
世の中には許せねえこともあるんだよ
どうせ許しても許さなくても過ぎたことで
何が変わるわけでもないのでしょう？
なんだよ事情知ってんのか？
察しました
ぴぴっと
…理屈に合わねえんだ
許せなくて当然だろ
私がさっき何て引用したか
忘れましたか？
ヤラ

吉野さんは
あれで問題ある人ですけど
大抵の場合
正しいんじゃ
ありません？
正しくても
不合理は
不合理なんだよ

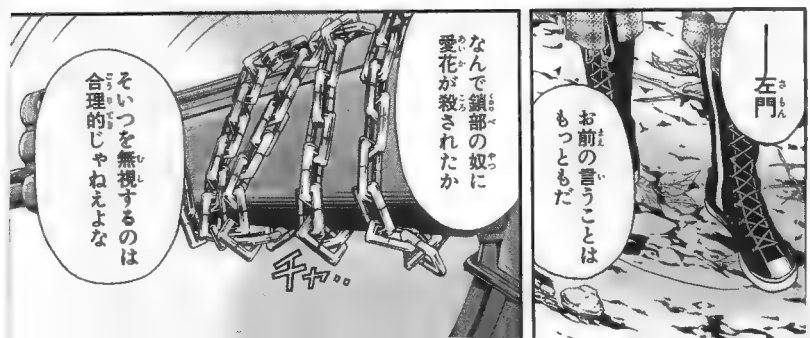
…どうしてこんな可愛い映画を借りてきたんです？
オレの意外な一面を見せてやろうとだな…

左門殿の
一年前に殺人を犯した者の調査が終わりました

そうか！
犯人が特定できたかっ！
…しまった！
吉野
時間稼ぎを狙ってたのはお前だけじゃない
左門もだ
この報告がくるまで少しでもオレらを動揺させ
葉風の動きを妨害しようとしてたんだよ


もちろん
オレが説得に応じればそれでも良かったろう
ニャラ
だが犯人を特定して連れてきてもオレらが葉風に味方する理由をなくせる
そういう約束だったからな

オレらと葉風を切断できれば葉風の勝つ流れを遅らせられる
その間に「絶園の樹」復活にこぎつけようってこの土壇場 計算してたのさ
この少年…
感情を乱すどころか冷静にそこまで頭を回していたのか?


――左門
お前の言うことはもっともだ
なんで鎖部の奴に愛花が殺されたか
そいつを無視するのは合理的じゃねえよな
チャ…

犯人がわかったんだ
早く連れて来させろよ
「はじまりの樹」まで
ぶっ倒す必然が
あるかどうか
そいつの話を
聞こうじゃねえか
…哲馬
至急だ
犯人を連れて
来てくれ
いえ…
それが
左門殿
一族内に
理を犯した者は
いません

…何？
……
…ですから
一族内に殺人を犯した者はいません
犯人は一族にいないのです！

バカな！
そんな
バカな！
本当です
何度も確認しました
間違い
ありません！
どういう
ことだ！
葉風!?
そんなはず
ない!!
こちらも繰り返し
確認したであろう！
たとえ犯人が死んで
いても「はじまりの樹」に
許された者以外は
魔法探査から
逃れられん！
ここにおいて
身内をかばいはせん！
わかるで
あろう！

バカ言ってんじゃねえぞ！
魔法で犯人が特定できねえんなら
オレは何のためにここまで来た!?
理屈に合わねえ！
おかしいだろ!?
――おかしい
魔法の網に掛からない犯人が他にいるとでも…!?
……ひょっとすると
いるかもしれん

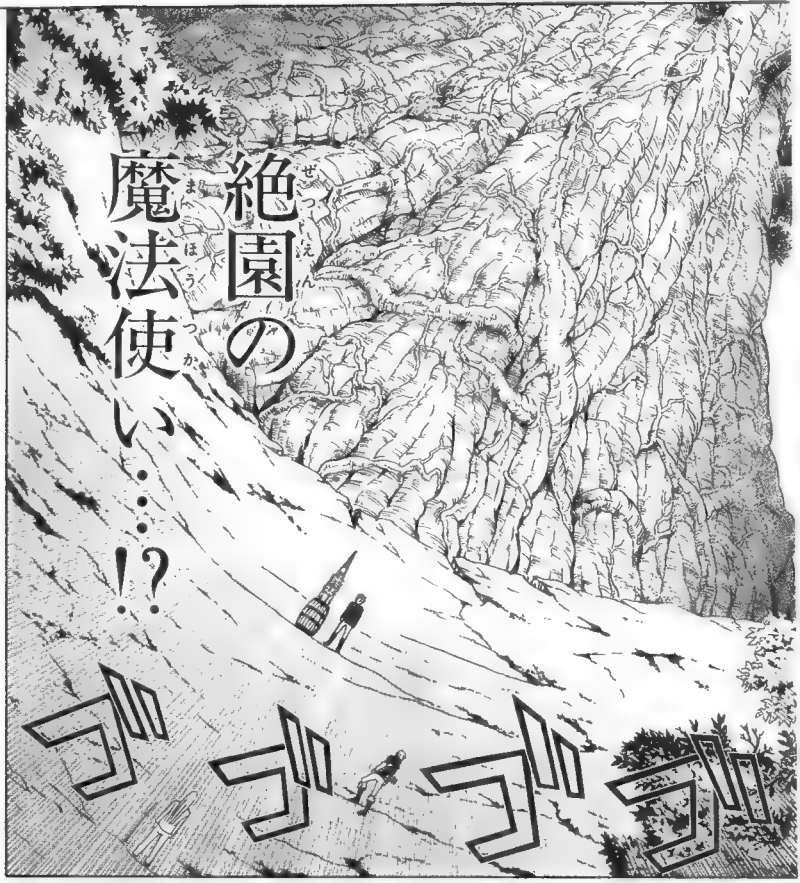
いるかもしれんのだ！
鎖部以外にただひとり魔法の網に掛からぬ者が！
「はじまりの樹」に従わぬ者
理を犯しても罪にならぬ者
いや 破壊こそが理の者が！
なんだよそれは!?
また適当なことぬかすな——
私が！
「はじまりの樹」の姫巫女であるように！

破壊の理に祝福された御子が

「絶園の樹」の復活を感じてひとり生まれていたかもしれんのだ！

いわば

「絶園の魔法使い」が！


絶園の魔法使い…!?
ゴゴゴゴゴ

潤一郎殿
冗談はおくとして
なぜ我らの邪魔をされたのです?

バランスの問題だよ
ことさら葉風ちゃん側を不利にしたくなかったんだ
「はじまりの樹」の理は
葉風ちゃんを守るように働く
ス・・
「絶園の樹」復活が本格化し あまりに葉風ちゃんが不利になれば
それを正すため途方もない理が働かないともかぎらない
途方もないとは…
いったい…

「はじまりの樹」の覚醒が
早まったかもしれない
ゴゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴ

「絶園の樹」に「絶園の魔法使い」…？

それが本当なら犯人は…!?

絶園のテンペスト 3 おわり

絶園のテンペスト

次巻予告
「絶園の魔法使い」が
「絶園の魔法使い」
だと…？
愛花殺しの犯人なのか…？
まさか…
この「樹」は……
そして、世界各地に出現する
文明を喰らっているのか…!?
「はじまりの樹」…!!!
「はじまりの樹」が
真広の妹の死を招いたと思いたくないが…

結界が完全に破れたぞ
富士山麓一帯に
非常事態発生!!

潤一郎殿…
結界は「絶園の樹」の制御もしていたのですよ?
これもまた必然の出来事なのか…!?

あのたくさんあるのが「はじまりの樹」?
あれも一部?
急襲する「はじまりの樹」に
応戦を始めた「絶園の樹」――!!
ギギギ
ギギギ…
神と神が激突する
あの文明を喰ってる樹は国内だけの現象じゃないのか!?
世界的に地球規模で異変が起こっている……!?
この黙示録の行方は一体……!?

偶然か、「はじまりの樹」の理か…。
コードギアス
葉風は2年の時を越え、
わからんっ
「はじまりの樹」はいったい私に何を望んでいるのだ…？
島から帰ってこれるのか？
この大嵐で
世界はどのような
変容を遂げてしまうのか…!!?
［絶園のテンペスト］第4巻へ続く!!
To be continued

原作者あとがき

犯人は誰かわかっているのだけれど、決定的な証拠がなくて捕まえられない。いわゆるミステリーものの小説や映画、ドラマなどでそういった状況はよく描かれます。そんな時、犯人を捕まえる側はどうするか。決定的な証拠を得るための罠を、犯人に仕掛けます。

第2巻に引き続いて原作担当の城平京です。富士山麓から動かないことこの上ない第3巻です。

さて、ミステリーにおける罠のお話です。この手の作品で私が真っ先に浮かぶのが『刑事コロンボ』というアメリカのテレビドラマシリーズです。このシリーズは毎回犯人が最初から視聴者にわかっており、その人物の行った犯罪をどうコロンボが見破り、逮捕にこぎつけるか、というのを見せる作品になっております。いわゆる「倒叙ミステリー」と呼ばれるものです。日本では「古畑任三郎のやつ」と言うとわかりやすいかもしれません。

コロンボは早い段階で犯人は誰か見抜くものの、毎回決定的な証拠を得るのに苦心します。犯人が犯行の途中にミスをしており、最初から決定的証拠を残してくれている場合もありますが、そうでない場合が多いのも必然です。そんな時、コロンボはきわどい罠を仕掛け、決定的証拠を手に入れようとします。

犯人にプレッシャーをかけて隠している物証をうっかり出させたり、ありもしない決定

的証拠があると犯人に思わせ、それを隠滅しようとする現場を押さえたり、犯人しか知らない情報を思わず暴露するよう誘導したり、時によって犯人が自白せざるを得ない状況を作る、という手さえ使います。すごいぞ、コロンボ。

作例としましては、「指輪の爪あと」や「ハッサン・サラーの反逆」、「逆転の構図」に「別れのワイン」、「意識の下の映像」や「愛情の計算」といった作品になるでしょうか。特に「愛情の計算」という作品の罠に関しては、「手段を選ばないな、コロンボ」と思ってしまいました。どの作品でどういう罠が仕掛けられているかは実際ご覧になって確認してみてください。

本巻で吉野も手段を選ばず相手側のミスを、決定的証拠を引き出す罠を仕掛けます。この巻はつまり、変則的ながら古典的な倒叙ミステリーをやっていたと言えるかもしれません。ちなみに「愛情の計算」には映画『禁断の惑星』に登場するロボット「ロビー」が「MM7」として登場していたりします。

次巻ではさすがに物語の舞台は富士山麓から大きく動きます。登場人物達の立場も大きく変動し、話も大きく動く予定。新たな人物が新たな活躍をするかもしれません。

では第4巻でお会いできることを祈りつつ。

城平京

左有秀あとがき

皆様はじめまして。

「絶園のテンペスト」で構成を担当しております、左有秀です。

第三巻、ということで、主役二人の性格もだんだんわかってきて愛着がわいてきました。

真広と吉野の奇妙な友情関係は大変表現しがいがあります。

雪の舞う静かな街から始まった二人の冒険は、鎖部一族の「絶園の樹」と「はじまりの樹」復活を廻る騒乱、世界の命運を賭けた駆け引きへと舞台を移していきます。

城平さんの壮大な世界観をしっかりと描いていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

と、これだけでは何なので、自分が気に入っているキャラクターについて少々書きたいと思います。

自分がこの物語で最も共感しているのは、真面目で、努力家で堅実で、しかしながらちっとも報われない鎖部一族の兄貴達です。

左門、夏村、哲馬。彼らの前に立ちふさがるは、豪運最強魔法使い葉風とその仲間達。

努力しても、どんなに綿密に計画を立てても、ツいている人、何か持っている人にはいつも美味しいところを持っていかれてしまう。そんな彼らの悲哀は涙なしには語れません。

ビンゴ大会でめったに当たらない二等が当たったと思ったら、景品が鼻毛カッター！だったり、今年の夏に自動販売機からジュースが三本出てこなかった自分には、なんとなく彼らの気持ちがわかります…。

頑張れ鎖部一族。兄貴達に幸あれ。

というわけで、「絶園のテンペスト」第三巻でした。次巻ではどのような嵐（テンペスト）が吹き荒れるのでしょうか。

彩崎 廉あとがき

おまけページではじめまして！
作画担当の彩崎と申します！
今回初おまけページということで
何か仕事場の話を書こうかと思った
のですが、それよりも何よりも
真っ先に感謝の言葉を書かねば！
と思いました。
原作の城平さん、構成の左さん、いつも
素晴らしいストーリーと構成をありがとうございます！
担当の湯村さん、いつも本っ当――――――に色んな迷
惑おかけしてすいません…!!
絶園スタッフのみんな、終電で帰っていいところを朝方ま
でやっていってくれて本当にありがとう!!
もうここに書ききれないくらい、色んな人たちへの感謝が
ありますが、何よりも誰よりもこの本を手にとって下さった
あなた！　本当にありがとうございます!!
すべてに感謝です!!

次巻から仕事場の話とか色々
書いていければと思いますので、
次巻もよろしくお願いします！

Satoshi Tan

STAFF

内山慶志　中村さん
あつし　矢内さん　なにお ゆう

(毎月12日発売)にて
大人気連載中!!

月刊少年ガンガン

ガンガンコミックス

絶園のテンペスト

~THE CIVILIZATION BLASTER~

絶園のテンペスト 3

2010年12月22日 初版
2012年7月5日 7刷

原作/城平 京
構成/左 有秀
作画/彩崎 廉

©2010 Kyo Shirodaira
©2010 Arihide Sano
©2010 Ren Saizaki

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

〒151-8544 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル3階
〈内容についてのお問い合わせ〉 TEL 03(5333)0835
〈販売・営業に関するお問い合わせ〉 TEL 03(5333)0832
FAX 03(5352)6464

印刷所 図書印刷株式会社

○本書の内容の一部あるいは全部を、著作権者、出版権者等の許諾なく、転載、複写、複製、公衆送信（放送、有線放送、インターネットへのアップロード）、翻訳、翻案など行うことは、著作権法上の例外を除き、法律で禁じられています。これらの行為を行った場合、法律により刑事罰が科せられる可能性があります。また、個人、家庭内又はそれらに準ずる範囲での使用目的であっても、本書を代行業者等の第三者に依頼して、スキャン、デジタル化等複製する行為は著作権法で禁じられています。
○乱丁・落丁本はお取り替え致します。大変お手数ですが、購入された書店名と不具合箇所を明記して小社出版業務部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店でご購入されたものについてはお取り替えに応じかねます。
○定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan

ISBN978-4-7575-3087-4 C9979